

採 択 の 基 準

- ア 教育基本法、学校教育法に基づき公示された小学校学習指導要領に示されている各教科の目標を十分達成できるものであり、児童の発達の段階に応じて系統的に編集されているものであること。
- イ 教材の内容等が充実しており、個に応じた指導に対応できるなど指導の充実につながるものであること。
- ウ 使用上の利便性があり、児童にとって分かりやすいものであること。
- エ 地域の教育の特色や、児童の実態等に考慮すること。

調 査 研 究 の 観 点

項 目	観 点
1 教科目標の達成及び 単元（題材）の構成・配列 等	<p>1－(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。 基準ア</p> <p>1－(2) 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。 基準ア</p>
2 内容や指導の充実	<p>2－(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。 基準イ</p> <p>2－(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。 基準イ</p> <p>2－(3) 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。 基準イ</p>
3 利便性の向上	<p>3 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。 基準ウ</p>
※ データ	<p>※ 諸データ(共通・種目別) 基準ア～基準ウ</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 表現し理解する能力を養うために、2つの文章を読み比べる中で書き手の工夫を読み取ったり、読んだ感想を交流し合ったりするなど、ねらいに即した言語活動に取り組む中で、学習や生活に生きて働く確かな言葉の力が身に付き、伝え合う力が高まるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、「書くこと」における創作の活動を各学年に2単元ずつ設けたり、関連する本を複数読み比べる活動を行ったりして、考えを深めていくような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 表現し理解する能力を養うために、物語文を学習した後に感想を書き伝え合ったり、説明文を読んだ後に友だちに内容を説明したりするなど、各学年とも「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動それぞれが他の領域と組み合わせられ、伝え合う力が高まるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、思考や理解が深まるように、感想の中から出てきた問いの答えをみんなで考えたり、問いを作る活動を行ったりするなど、学びを交流するような工夫が見られる。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 表現し理解する能力を養うために、各単元の冒頭や単元末のコーナーで身に付ける力や言語活動の内容を明確に示すとともに、巻末の「まとめ」に集約して提示し、年間を通して振り返りを意識しながら、児童が見通しをもち、主体的に学習に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、別冊の資料集「学びを広げる」でさまざまな場面で役立つ言葉についての資料を盛り込み、豊かな情操や生きて働く言語能力を養うような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 表現し理解する能力を養うために、「話すこと・聞くこと」の領域ではアドバイスや感想を述べ合う活動を行ったり、「読むこと」の領域では、意見や感想の交流を通して共感するところや違うところに着目する学び合いの場を設けたりするなど、伝え合う力の育成を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、「話す・聞く」「書く」「読む」領域において、ノート例やメモを目的に合わせて活用できるようにし、学習内容や過程が分かり主体的に学習できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 表現し理解する能力を養うために、要旨をまとめた後に自分の考えを書いたり、読む活動で習得した知識を次の書く活動で生かしながら文章を書いたりするなど、各領域の学習が効果的につながるような単元を構成し、伝え合う力の育成が図られるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、目標の確認や取り組む課題、振り返りの視点など、読みの観点や言語活動の手順を示すことで見通しをもって主体的に学習し、考える力が身に付けられるような工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の目標を達成するために、各単元に既習事項との関連を示す「つながる」欄を設け、既習の「言葉の力」を生かすことで、より確かな定着を図るような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については1年が5、2～6年が9単元で、言葉の力が着実に身に付けられるように6年間を通じて系統的・段階的に単元が配列され、各巻末に「言葉の力のまとめ」を設け学習の振り返りや確認ができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 単元の目標を達成するために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では学習の流れが示され、「読むこと」では学習の手引きが示され、学び方が分かるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、2年が15、3～6年が12単元で、各領域がバランスよく配置され、段階的に繰り返し学ぶことで確かな言葉の力を身に付け、演習学習材や資料編のコーナーで児童の主体的な学習を促すような工夫が見られる。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 単元の目標を達成するために、単元の始めにねらいを、教材の終わりに学習の進め方を示しており、児童の主体的な学習を促すような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、2年が11、3～6年が10単元で、漢字取り立て教材を10教材ずつ配置したり、単元末に「私の本だな」を設けて年間を通して多様な視点から学習と関連付けた読書活動をさせたりするような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の目標を達成するために、単元の始めに単元の目標と学習のめあてを示し、単元の終わりに学習内容のまとめを示し、言葉の力を確実に育てるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、低学年が8～10、中学年が8～9、高学年が7～8単元に小教材が加えられ、2学年で必要な学習を系統的に繰り返し取り上げ、学んだことを活用する場を設けて言葉の力を育てるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の目標を達成するために、「読むこと」では読みの観点と言語活動の手順を示し、「書くこと」では「活動の流れ」を示し、見通しをもって学習できる構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、低学年が13、中学年が11、高学年が9単元で、全体は単元・小単元・コラム・特設単元から成り、知識・技能の習得・活用を繰り返しながら言葉の力が身に付けられるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習内容の習得を図るために、単元冒頭に「ねらい」を明記したり、単元末に学習の重点となる「言葉の力」を明示したりして、単元で身に付けたい力を児童が意識して学習できるようにしている。また、既習事項との関連を示した「つながる」を設け、既習内容を生かしながら定着を図る工夫がなされている。本地域で重視したい基礎的・基本的な内容の習得については、身に付けたい力や既習事項との関連を明示する工夫が見られる。</p> <p>(2) 活用を図る力を育てるために、学習内容を他教科や実生活にどのように生かすことができるかを示した「ひろがる」や「言葉の力を活用しよう」を設け、児童が目的意識をもって学習することができるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習内容の習得を図るために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、冒頭に学習の流れを図示し、見通しをもって学習に取り組ませることができるようになってきている。説明文教材では、プレ教材「読むレッスン」（3年生以上）で読みの技能を高め、主教材で主体的な読みができるようにする工夫がなされている。本地域で重視したい基礎的・基本的な内容の習得については、プレ教材と主教材の2段階で読み取りをさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 活用を図る力を育てるために、読解教材では、習得した学習内容を活用して表現活動をする構成になっており、「読むために書く」単元で、読む技能を取り立てて学習し、各領域で活用できるようにするという工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 学習内容の習得を図るために、2年生以上は学習内容が一冊にまとめられたり、巻頭で「〇年生で学習すること」が領域ごとにまとめられたりして、見通しをもって内容を習得することができるようになってきている。1教材1領域にねらいを焦点化しており、系統性を重視して教材構成をするという工夫がなされている。本地域で重視したい基礎的・基本的な内容の習得については、教材ごとにねらいを絞って学習させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 活用を図る力を育てるために、学習のポイントを示した「覚えておきましょう」を教材の随所に設け、基礎的・基本的な言語技能の定着を図るとともに、他の学習や生活の中で活用できるようにするという工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習内容の習得を図るために、最初の単元で、国語学習に対する期待感を高めるような小教材や継続的に取り組むことのできる内容を取り上げた小教材を設定している。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元冒頭では「学習の進め方」を示し、学習の見通しをもたせるための工夫がなされている。本地域で重視したい基礎的・基本的な内容の習得については、学習の見通しをもって、手順に沿った学習活動を行う工夫が見られる。</p> <p>(2) 活用を図る力を育てるために、「読むこと」の単元では、「てびき」に沿った読みを充実させ、その読解内容を表現活動に生かすようにすることで、他教科でも活用できる読みの技能を身に付けられるという工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 学習内容の習得を図るために、既習事項を確認できる「いつも気をつけよう」や学びのポイントが分かる「たいせつ」を明記し、確実に学習内容を身に付けさせることができるようにしている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元冒頭で「活動の流れ」を示し、学習の見通しをもたせる工夫がなされている。本地域で重視したい基礎的・基本的な内容の習得については、既習事項や学習のポイント、活動の手順を明示する工夫が見られる。</p> <p>(2) 活用を図る力を育てるために、3年生以上の説明文教材では、第1教材で読み取りの基礎・基本を習得し、第2教材で学びの活用と定着を図るという構成になっており、習得・活用の学習が効果的に行われる工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習の見通しをもって主体的に学ぶために、単元冒頭の単元名や学習課題で単元を通して取り組む言語活動を表し、単元末の「てびき」では、学習を振り返る観点をチェックマークで示し、「言葉の力」の習得をより確かなものにするような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、5・6年生では「読むこと」と「話すこと・聞くこと」を合わせた単元を設け、対話、記録、報告、要約、説明、感想等の具体的な活動を通して自らの言語活動を振り返る能力等の育成を図るような工夫がなされている。</p> <p>(3) 豊かな言語感覚を育成するために、単元末の「言葉」や「漢字」、巻末の「言葉の広場」等を設定し、学習活動の中で活用を促し、日常生活の中で生きて働く言葉の力を身に付けられるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習の見通しをもって主体的に学ぶために、読むことにおいては、学びの目的を明確にした単元名を設定するとともに、「学習のてびき」で見通しをもった学習を展開し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」においては「学習の流れ」を示すような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、4年生では、ペアの話合いでお互いの解説のよいところを抜き出し、解説文を完成させる学習を、5年生では、グループでの話合いからよりよい紹介方法を定める学習を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>(3) 豊かな言語感覚を育成するために、単元末や巻末における「言葉のカギ」や巻末の「授業で使う言葉」、小単元の「言葉のいずみ」においては、語彙数を増やしたり表現の仕方を提示したりする工夫がなされている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 学習の見通しをもって主体的に学ぶために、「読むこと」の単元では、学習のねらいを単元の始めと終わりに明記するとともに、単元末に見開きで活動の順序を示し、「話すこと・聞くこと」の単元では、単元の冒頭に学習の流れを示すような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、単元末の「覚えておきましょう」では、基礎的・基本的な内容の習得を図り、「話すこと・聞くこと」では、「話合い」と「説明・報告」の2教材が、相互に関連性をもつように配慮するなどの工夫がなされている。</p> <p>(3) 豊かな言語感覚を育成するために、別冊資料集「学びを広げる」の「言葉のポケット」では、語彙数を増やし、「読書の森」では古典等様々な読み物資料に触れる機会を設けたりするなどの工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 学習の見通しをもって主体的に学ぶために、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元においては、冒頭のページに「学習の進め方」を示すことで児童が見通しをもって学習し、単元末の「ふり返し」において、めあてが達成できたかを振り返るなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、4年の見学したことの報告や5年の調べたことを発表する「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元の学習において、よりよい発表や報告文を書くための視点を吹き出し等を使い具体的に示すような工夫がなされている。</p> <p>(3) 豊かな言語感覚を育成するために、四季折々の美しい言葉や昔から親しまれてきた言葉遊び等の小教材を全学年に位置付けたり、巻末の「言葉の木」においては語彙力を高めたりするなどの工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習の見通しをもって主体的に学ぶために、全学年の教科書において、手引き「学習」を学習の流れが一覧できるよう見開きとし、単元の目標や読みの観点、言語活動を通して付けたい力や言語活動の手順、学習のふり返し等がわかるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、各単元には「たいせつ」を設け、身に付けたい力を箇条書きで整理し、巻末には『『たいせつのまとめ』』を設けて学びのポイントを示し、適切に表現したり正確に理解したりすることができるような工夫がなされている。</p> <p>(3) 豊かな言語感覚を育成するために、「季節の言葉」では、先人の感性が児童の語彙を増やすように、巻末の「言葉のたから箱」では、発達段階に応じて様々な言葉を分類し提示するなどの工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、「保健だより」「新聞」などを使って学習したり、年間を通して読書指導を行ったりすることにより、生活に生きる読解力を育成するための個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、単元末に話型、文型、語彙などをまとめて示したり、前学年で学習した漢字の練習ページを設けたりして、言葉の力を定着させるための個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、個々の読書の日常化を図るような読み聞かせコーナーや読書単元を設置したり、中学校での学習を意識した教材を高学年に取り入れたりして、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、必要な事柄がすぐに確認できるように区切りごとに新出漢字をまとめて示したり、「言葉のきまり」を小単元として設定したりして、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p>
15 三省堂	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、巻頭に読み聞かせコーナーを、単元末に本の紹介コーナーを設置したり、別冊資料集で、言葉に関する情報や関連図書を紹介したりするなど、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、単元の始めに新出漢字を学習し、教材の中で使い方を確かめるようにしたり、別冊では、ほとんどの漢字に振り仮名を付けたたりして、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、教材に関連した本の紹介や巻末のジャンル別・テーマ別の本の紹介、図書館活用のための読書単元など、様々な読書場を設定することにより、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、巻末に、新出漢字、前巻までに学習した漢字、前学年の漢字を掲載したり、単元末等に、言葉や漢字に関する問題を設定したりして、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、各学年に読書単元「本は友達」や図書紹介「この本、読もう」を配置したり、巻末資料として学習を広げるための資料等を提示したりするなど、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、語彙を豊かにするための資料「言葉のたから箱」を巻末に提示したり、既習の漢字を学習するための「漢字の広場」を設定したりして、個に応じた指導が展開できるような工夫がなされている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、巻末の付録に「言葉の世界」を設け、身に付けた「言葉の力」をふり返る「言葉の力のまとめ」や、授業で取り上げる大切な用語を一覧にした「学習で使う言葉」等を掲載し、児童が言語の主體的な使い手となれるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、説明文では、資料写真や図表、グラフなどを効果的に用いたり、3年生以上の詩の単元では、見開きで一編の詩を挿絵なしで掲載し、読み手の想像力をかき立てたりするなどの工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、児童の使いやすさ等に配慮して全教科書を上下2分冊とし、言語に関する基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指すために、巻末の資料編で「授業で使うことば」や「国語のカギ」を設けるなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、全学年で単元毎に新出漢字をまとめた「新しい漢字」において、新しく学んだ読み方に加え、覚えたい読み方を併記するとともに、活用例を文章で示し、漢字の力を身に付けさせるような工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、別冊の資料集「小学生の国語学びを広げる」において、言葉についてまとめ、必要に応じて他教科や日常生活などの様々な場面において参照できるよう教科書との2分冊構成にするという工夫がなされている。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、各領域等の教材で使われている当該学年の漢字を、直前の「新しい漢字を学ぼう」で先に学習し、その後、教材の中で使い方を確かめながら表現に生かせるように漢字を習得するような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、巻末付録の「この本で学ぶこと」を、1年間の国語学習をふり返ったり、確かめたい言葉や事柄を調べたりする手がかりとしたり、「言葉の木」では、言葉を分類し、関連付けて習得したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、3年「たからものをしょうかいしよう」4年「くらべて発見しよう」などで、児童が意見や感想の交流を通して、共感したり考え方の違いに着目したりしながら学習を進められるような工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、巻末の「言葉のたから箱」や「たいせつのまとめ」では、思考や表現の助けとなるような語彙を分類・提示したり、領域ごとに学びのポイントのまとめを掲載したりして、適切に表現したり正確に理解したりすることができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、3年「たから島のぼうけん」4年「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」では、「活動の流れ」で見通しを、児童作品例でゴールイメージをもち、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、「確かめよう」で学んだ原理・原則を生かして文字を整えて書いたり、文字の位置や大きさを工夫して効果的に新聞作りをしたりする活動を通して、文字によるコミュニケーションが図れるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、教材文字で書き方のポイントを考えさせ、学習課題を明確にして、書写学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、書写学習の進め方や学習のポイントを解説したり、「ためし書き」と「まとめ書き」とを比べて自己評価できるようにしたりして、学習経験を定着させやすいような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、学習のめあての重点化を図り、めあてに沿った思考を通して学習内容が確実に習得できるような工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、学習の流れやポイントが簡潔な言葉でわかりやすく表現されており、基礎的・基本的事項を的確に理解した上で、書写力を着実に定着させることができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、単に教科書の文字を手本に書くのではなく、どのように書けばよいか、児童の気付きを大切にして学習が進められるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、硬筆教材を国語の教科書から取り上げ、書写学習の観点から配列を考えて書くことに焦点化して扱うことで、既習事項を的確に理解し表現する力を高められるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、学習内容や手順を明確にし、教材文字とためし書きとを比べて課題に気付かせるなど、主体的に学習を進められるような工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、文字を書くときのポイントを整理して示し、それらを書き込み欄に記入して学習事項を確認する活動を通して、学習内容を正確に理解し、目的に応じて活用できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、学習のめあてを確認後、観察や比較による原理・原則の発見などの課題に取り組ませ、児童が主体的に考えながら学べるような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 表現し理解する能力を育成するために、既習事項を振り返り、それを生かして学習を進めることで、基礎的・基本的事項の理解を深め、興味・関心を高めながら意欲的に表現活動に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 思考力や想像力及び言語感覚を養うために、指導事項を単元名にして学習の目標を明確にし、文字を整えて書くためにはどうすればよいかなど、主体的に学習できるような工夫がなされている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の目標を達成するために、原理・原則の発見、原理・原則の確認、他の文字への応用の3段階に分け、児童が主体的かつ効果的に学習できるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、練習、生活に広げよう、まとめ、付録の4種類で構成し、特に生活に広げようでは、習得した技能を応用・確認できるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 単元の目標を達成するために、観察、試し書き、自己評価、練習、まとめ書きの段階に分け、手本と試し書き、まとめ書きとを比較しながら学習できるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、3年生以上において、毛筆での学習内容を硬筆に生かして書くなど、硬筆と毛筆との関連を意識しながら学習できるような工夫が見られる。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 単元の目標を達成するために、低・中・高学年の段階にあわせて学習の手順を示す、学習のポイントを焦点化する、学習の構成を示すなど、主体的に学習できるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、学習内容の系統性を考慮し、関連のある内容を大単元としてまとめるなど、より系統性を意識して学習できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の目標を達成するために、教材文字とためし書きを比べる、ポイントを確認する、毛筆の学習を硬筆に生かすの流れで、自ら課題を見付け、解決するような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、基礎・基本を練習した後に、応用教材を豊富に配置し、習得した内容を他の学習や、日常生活に活用できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の目標を達成するために、目標確認→原理・原則の理解→原理・原則の確かめ→活用の流れを繰り返すことで、基礎・基本と活用する力が身に付くような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、低学年では筆使いなどの部分的な内容から、字形などの全体的な内容へと段階的に配列し、スモールステップで基礎・基本を身に付けられるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 単元の目標を達成するために、毛筆教材に副教材を設定し、主教材での学習を別の文字で確かめ、生かすことにより、学習内容の定着を図れるような構成になっている。</p> <p>(2) 単元の配列については、学習内容が易から難へ段階的・系統的に配列され、最終単元にまとめ教材を設定するなど、学習したことを生かして取り組めるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、練習は分量を精選して、基本的な技能が身に付くように構成し、「生活に広げよう」で、新聞作成、パンフレット作成等の言語活動を積極的に取り上げる工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、「生活に広げよう」のコーナーを設け、国語の「書く」領域との連携を図り、新聞作成などの言語活動を積極的に取り上げる工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、練習では、「ほね書き」「かご書き」等の手法を紹介して基本的な技能が身に付くようにし、「硬筆で生かそう」で、ポイントを再度確認しながら、習得した技法を使う工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、「硬筆に生かそう」のコーナーを設け、詩やポスターづくり、いろは歌や文語詩の視写等の言語活動を取り上げる工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、紙面に豊富な書き込み欄を設けて、教科書内で技能が習得できるようにし、さまざまな書字場面を取り上げた教材で、技能を生かして言語活動に取り組める工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、発展教材「ひろげよう」を設け、飼育日記、算数のノート、学級日記等、さまざまな書字場面を取り上げた言語活動の工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、写真や図版で学習内容を繰り返し確認しながら基礎・基本を身に付けられるようにし、国語科と関連した新聞作りなどの教材で、技能を生かして言語活動に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、発展教材「トライあんどチャレンジ」「書いて伝えよう」を設定し、習得技能を発表資料作りなどの場面で活用できるような工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、2年生以上の全教材に「たいせつ」を設け、文字を書くときの原理・原則やポイントを整理して示し、技能が身に付くようにするとともに、他の字を書くときにも活用できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、巻末に各種手紙の書き方、見学メモの取り方、ノートの工夫等の資料を豊富に掲載し、学びを生活に広げられるような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、教材を段階的・系統的に配列し、基礎・基本を効果的に習得できるようにするとともに、「もっと書こう」のコーナーを設け、様々な言語活動に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 本地域で重視する活用する力を育てるために、「もっと書こう」のコーナーを設け、身に付けた力を調査報告文、読書紹介文等の言語活動に活用できるような工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 言語活動を充実させるために、手紙や新聞の書き方等の教材を取り上げ、国語科の「書く」領域との連携を図って学習を展開する工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、「百人一首」や「論語」などをなぞり書きする活動を設け、伝統的な言語文化にふれられるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 言語活動を充実させるために、原稿用紙やメモの取り方等、国語科の言語活動例との関連を配慮した学習が展開されるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、現代まで伝承されている詩歌、古典の一部等の書写を導入し、伝統的な言語文化に親しめるような工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 言語活動を充実させるために、動物の飼育記録、算数のノート、学級日記等を取り上げ、国語科の「書く」領域や他教科、学校生活との関連を図る工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、俳句を書く活動や、本作り、寄せ書き等、グループや学級で取り組む活動を設定し、多様な言語活動が展開できる工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 言語活動を充実させるために、「おおきなかぶ」「竹取物語」等、国語科の教科書から硬筆教材を取り上げ、関連した指導ができるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、古典や俳句等、伝統的言語文化の教材を視写する活動を設け、その内容を味わいながら学習を進められる工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 言語活動を充実させるために、国語科との関連教材を設けることで、日常に即した様々な言語活動（「話すこと・聞くこと」「書くこと」）が効果的に展開されるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、教材に詩を取り上げたり、文字の歴史に関する資料を掲載したりするなど、伝統的な言語文化にふれながら学習できるような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動を充実させるために、言語活動例を具体化した「もっと書こう」のコーナーを特設し、文字への関心を高めながら様々な言語活動が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 豊かな言語感覚を育成するために、古典や童謡を書く教材として設定し、幅広い知識と豊かな情操を育むことができるような工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、高学年では修学旅行や学習発表会等、1年間の行事に合わせて場面を設定した「生活に広げよう」を設け、基本事項を生活に広げられる工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、「練習」段階で基礎を徹底するとともに、毛筆教材に示した索引などで既習事項を確認し、個別の課題に対応できるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、習得した技能を活用できる学習や生活の場を例示するなど、活用に向けた児童の興味や関心が高められるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、書字の技能や活用の場の例示等を分かりやすい文章やイラストで提示し、自主学習でも活用できるような工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、他教科の学習や日常生活の中で文字を書く場面を取り上げて教材化し、書写学習で身に付けた技能を生かし、運用能力を育てる工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、学習の構造化を図り、読みやすい字を書くために、考えたことを実際に書いて確かめる活動を繰り返し行えるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、「はってん」のコーナーや「知りたい文字の世界」等の単元を設け、児童の関心や習熟度等に対応できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、毛筆教材を「ためし書き→練習→まとめ書き」の流れで学習し、さらに同じ視点で硬筆教材の学習ができるような構成の工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、「もっと知りたい」のコーナーを設け、行書やはんこ作り等の資料を提示し、児童が興味・関心をもって学習が進められるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、「導入→理解→確認→活用→振り返り」の流れを基本とし、繰り返し学習できるような構成の工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 発展的な学習を進めるために、日常生活や他教科等と連動した「広がる学び」のコーナーを設定し、児童の興味・関心や習熟度に合わせた学習が展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 補充的な学習・繰り返し学習を行うために、目標を設定して取り組む「まとめ」や「チャレンジ」を設け、練習を繰り返しながら習熟が図られるような工夫がなされている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、既習事項が確認できるインデックスを設けたり、学習内容の定着のために、書き込み欄を充実させたりという工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、毛筆教材の紙面を半紙の縦横比率に合わせて設定し、半紙全体に対する文字の配置がとらえやすい工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、全学年、書写学習の進め方を解説したり、かご書き、ほね書きの手法を紹介したりするなど、課題にあわせて学習しやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、筆使いや文字のバランス等を記号や補助線を用いて分かりやすく提示し、自ら学びを進められるような工夫がなされている。</p>
15 三 省 堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、学習内容を書き込み、理解したことを確かめる欄を充実させ、技能を身に付けるために効果的に学びを振り返ることのできる工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、学習のポイントを焦点化して簡潔な言葉で表現し、見やすい紙面構成になるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、全学年、裏表紙に鉛筆・筆の持ち方を掲載し、1年生においては巻末折り込みでも確認できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、毛筆の穂先の通り道を朱墨と薄墨を使って解説したページを充実させ、筆づかいを身に付け、字形を整えて書くための工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、第2学年以上の全教材に「たいせつ」を設け、文字を書くときの原理・原則やポイントが分かりやすいような工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、毛筆の教材文字を、朱墨と墨で書かれた文字や基本点画を示し、筆圧や穂先の動き等、筆使いが分かりやすいような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性に関しては、全学年、キャラクターを用いて学習のポイントや視点を分かりやすく示し、興味をもって学習に取り組みやすいような工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとっての分かりやすさに関しては、特に低学年において、姿勢・持ち方のページを増やし、写真を拡大してポイントを示すなど、分かりやすい工夫がなされている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会生活についての理解を図るために、まず、社会や国土全体を大きくながめる学習場面を位置づけ、具体的な事例を通して社会や国土が理解できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 本地域で重視する地域社会に対する理解と愛情を育てるために、3年生ではきゅうりの産地として宮崎県を取り上げ、4年生では風水害からくらしを守るための宮崎市の取組を、5年生では宮崎県のきゅうりづくりや自然災害から身を守るための日之影町の取組を取り上げている。</p> <p>(3) 公民的資質を養うために、様々な仕事や社会的活動に携わる人々の姿を「〇〇さんの話」として随所に提示し、社会的な見方や考え方を養うことができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会生活についての理解を図るために、小単元の終末に、キーワードを使って基礎的な知識を整理したり、考えたことを表現したりする「まとめる」を位置づけ、社会生活について考える力を育む工夫が見られる。</p> <p>(2) 本地域で重視する地域社会に対する理解と愛情を育てるために、3年生ではピーマンの産地として宮崎県を取り上げ、5年生では、本地域でも盛んなビニールハウスを活用したピーマンやきゅうり等の野菜作りや肉牛飼育を取り上げている。</p> <p>(3) 公民的資質を養うために、地域や社会、自分たちの暮らしのこれからについて考え合い、表現し合う「深める」を大単元の末尾等に位置づけ、社会参画に向けた意識や態度を育む工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 社会生活についての理解を図るために、前学年までに学習した「たいせつ」の一覧を巻末に提示したり、5・6年の教科書を1巻構成とする等、既習事項との比較・関連付けを意識した工夫が見られる。</p> <p>(2) 本地域で重視する地域社会に対する理解と愛情を育てるために、5年生では「わたしたちの食生活と水産業」の選択教材「わたしたちの食生活と畜産業」で、畜産業のさかんな地域として畜産物の飼養頭羽数の上位3位に宮崎県が取り上げられている。</p> <p>(3) 公民的資質を養うために、話し合い活動を重視するとともに、多様な言語活動を提示し、よりよい社会をめざし、進んで社会にかかわろうとする態度を育てる工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 社会生活についての理解を図るために、「わたしの問題」「わたしの見方・考え方」「みんなで話し合いたいこと」の三つの要素をもとに学習が展開し、自らの見方・考え方が高まっていくような工夫が見られる。</p> <p>(2) 本地域で重視する地域社会に対する理解と愛情を育てるために、3年生ではきゅうりやピーマンの産地として、5年生では「水産業のさかんな地域」の選択教材「畜産業のさかんな宮崎県」で、口蹄疫の被害からの復興についても取り上げている。</p> <p>(3) 公民的資質を養うために、小単元の終末にまとめの学習場面を設定し、学んだことから考えたことをまとめさせ、人や社会とよりよくかかわろうとする態度を育てる工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童の主体的な学習を図るために、各学年に「学習の進め方」を設けたり、側注欄に本時の「めあて」とその時間の学習段階を明示したりして、問題意識をもって学習を進められるように単元が構成されている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標を達成するために、3・4年生では身近な場所や人を入口にし、問題解決的な学習の基礎を学び、5・6年生では、「ひろげる」「ふかめる」コーナーをより充実させ、社会的事象についてより広く深く考えることができるような単元の構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童の主体的な学習を図るために、問題を解決していく過程の見通しを学年の最初の単元で示した上で、大単元・小単元・各時の「問い」を明示し、問題を確かめながら一貫した追及を進めることができるように単元が構成されている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標を達成するために、3・4年生では地域学習を進める際の具体的な方法を提示して多様な観点から地域・社会の一員としての自覚をもてるようにし、5・6年生では、学習したことをもとに、地域や社会、暮らしのこれからについて考え合うことができるような単元の構成・配列の工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 児童の主体的な学習を図るために、問題解決的な学習の仕方の手順や、課題の見つけ方・調べ方・まとめ方の例、学習の道筋等を分かりやすく示し、様々な場面において課題を追求できるような単元の構成がされている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標を達成するために、3・4年生では、直接体験する活動や多様な事例を取り上げて、地域に対する誇りと愛情を育てるようにし、5・6年生では、自分と社会のつながりへの関心が高まるような単元の構成・配列の工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 児童の主体的な学習を図るために、「わたしの問題」「わたしの見方・考え方」「みんなで話し合いたいこと」の3つの要素で学習が展開し、子ども一人一人の問題解決の道筋や社会的な見方や考え方の成長する過程が見えるように単元が構成されている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標を達成するために、3・4年生では、身近な地域や自分たちの生活経験から問題解決学習の基礎の習得を図り、5・6年生では、調べたことから社会と自分たちのくらしの関係やこれからについて考えることができるような単元・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 各学年の最初に「学習の進め方」のコーナーを設け、社会科における基本的な学習の進め方が紹介してある。また、「まなび方コーナー」やキャラクターのふきだしを活用することで、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得できるように工夫している。</p> <p>(2) 問題解決の流れを、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」とし、毎時の学習内容の初めにそれを分かりやすく明示することで、目的意識をもって主体的な学習が進められるように工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 各学年の最初に「教科書の使い方」のコーナーを設け、教科書の見方や学びのてびき等を紹介し、基本的な学習の進め方を学べるようにしてある。また、「やってみよう」やふきだしを参考に、それらを活用することで、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得できるように工夫している。</p> <p>(2) 問題解決の流れを、「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」とし、目的意識をもって主体的な学習が進められるように工夫している。特に、「まとめる」では、ワークシートがそえられており、重要語句などを整理してまとめることができる。</p>
38 光 村	<p>(1) 各学年の最初に「ようこそ、〇年生の社会科へ」のコーナーを設け、学習の流れを紹介し基本的な学習の進め方を学べるようにしてある。また、「ことば」、「たいせつ」やふきだしを参考に、それらを活用することで、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得できるように工夫している。</p> <p>(2) 問題解決の流れを、ホップ「見つける」・ステップ「調べる・話し合う」・ジャンプ「まとめる・広げる」とし、毎時の学習内容の先頭にそれをマークとして明示することで、目的意識をもって主体的な学習が進められるように工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 各学年の最初に「教科書の使い方」のコーナーを設け、教科書の効果的な活用の仕方を紹介し、基本的な学習の進め方を学べるようにしてある。また、「学び方・調べ方コーナー」を設け、それらを活用することで、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得できるように工夫している。</p> <p>(2) 問題解決の流れを「問いの旅」と名付け、「新しいぎもん」「問題をつかむ」「予想を立てる」「調べる」「わかる」とし、毎時間の学習課題を細かく例示することで、目的意識をもって主体的な学習が進められるように工夫している。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合い、お互いの考えを深めるために、単元末の「まとめる」では、表、関係図、4コマまんがや手紙、カード等での整理の仕方を紹介している。様々な例示をすることで多様な言語活動の充実が図られる内容になっている。</p> <p>(2) 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させるために、ワークシートに重要語句を指定しまとめさせたりする活動を取り入れ、ポイントを押さえた言語活動が行われるように工夫してある。</p>
17 教 出	<p>(1) 考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合い、お互いの考えを深めるために、単元末の「まとめる・深める」では、ワークシートにまとめたり、重要語句を使って単元をまとめたりすることを紹介している。それらの活動を通して、言語活動の充実が図られる内容になっている。</p> <p>(2) 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させるために、学習をふり返るコーナーでは、その単元で示されたキーワードを示し、それを使って短文で表現することで、ポイントを押さえた言語活動が行われるように工夫してある。</p>
38 光 村	<p>(1) 考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合い、お互いの考えを深めるために、単元末のジャンプ「まとめる・広げる」では、学年の発達段階や学習内容に応じて、多様な言語活動を提示している。それらの活動を通して言語活動の充実が図られる内容になっている。</p> <p>(2) 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させるために、「たいせつ」のコーナーにおいて、引用・要約のポイントを示し、ポイントを押さえた言語活動が行われるように工夫してある。</p>
116 日 文	<p>(1) 考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合い、お互いの考えを深めるために、単元末の「ふり返ってみよう」では、まとめ方の例を多数示されており、ふり返りの手順等も示されている。これらの手立てで、多様な言語活動の充実が図られる内容になっている。</p> <p>(2) 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させるために、各小単元には、必要に応じてキーワードが示してあり、これらを使ってポイントを押さえた言語活動が行われるように工夫してある。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 発展的、補充的な内容として「いかす」「ひろげる」が設定されており、多様な教材を活用することで社会科学習に広がりをもたせる工夫がなされている。</p> <p>(2) 学習内容の定着を促す大切な語句を「ことば」として掲示するとともに、「学び方コーナー」を設定し、系統的に学習技能を確実に身に付けることができるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 発展的、補充的な内容として「せんたく」「もっと知りたい」が設定されており、興味・関心に応じて、さらに広く、深く学習できる工夫がなされている。</p> <p>(2) 学習内容の定着を促す大切な語句を「キーワード」として掲示するとともに、「学びのてびき」を設定し、問題解決にむけた技能を身に付けることができるよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 発展的、補充的な内容として「ジャンプ」が設定されており、児童の興味・関心に応じて多様な学びが展開できるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 学習内容の定着を促す大切な語句を「ことば」として掲示するとともに、「たいせつ」を設定し、様々な場で活用できる学習方法を身に付けることができるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 発展的、補充的な内容として「大きくジャンプ」が設定されており、多様な活動例を示し、主体的に問題解決に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 学習内容の定着を促す大切な語句を「キーワード」として掲示するとともに、「学び方・調べ方コーナー」を設定し、観察力・資料活用力を身に付けることができるよう工夫されている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習の進め方については、1 単位時間の内容を 1 見開きで示すのを基本とし学習段階が分かりやすい構成になっている。単元の「めあて」や学習問題などは文節の区切りで改行することを原則にし、課題が読み取りやすくなるよう工夫してある。</p> <p>(2) 各種資料等については、授業で活用できる写真やイラストを数多く掲載してある。また、図表は色だけではなく形や模様などでも識別できるよう工夫してある。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習の進め方については、1 単位時間の内容を 1 見開きで示すのを基本としている。各学年の最初の単元では問題解決を軸とした学習展開が掲示されている。「〇〇さんの話」などから社会参画に向けた意欲の向上が図られるよう工夫してある。</p> <p>(2) 各種資料等については、ワイドな資料からの関心や意欲などを喚起し学習が深まりやすいようにしてある。また、カラーユニバーサルデザインを取り入れて見やすいよう工夫してある。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習の進め方については、1 単位時間の内容を 1 見開きで示すのを基本としている。小単元の構成は問題解決的な学習の道筋が分かりやすく示されている。5・6 学年は 1 巻構成で学習内容を比較しやすいよう工夫してある。</p> <p>(2) 各種資料等については、写真などの資料は精選され本文の記述に関連させて活用しやすい。また文字の形や線の種類や太さを変え、色覚特性をもつ児童への配慮をするなど工夫がしてある。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習の進め方については、1 単位時間の内容を 1 見開きで示すのを基本としている。問題解決の学習過程を紙面上に構造的に示し主体的に学習できる。終末の場は自分の提案を説明し社会参画の資質育成になるよう工夫してある。</p> <p>(2) 各種資料等については、写真やイラストなどの資料を読み取るヒントを掲示してある。また、カラーユニバーサルデザインを取り入れ見やすいよう工夫してある。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 日本の国土や社会生活についての理解を深めるために、広い視野から国土を見渡す地図を複数配置したり、大きく見やすい資料を多く掲載したりしている。</p> <p>(2) 統計資料の掲載や「地図帳の使い方」の記述などで、資料活用能力を育てる工夫がなされている。</p> <p>(3) 宮崎県図や「土地利用とおもな農産物」の中で、西都・児湯地域の農産物を学ぶことで、地域に対する理解と愛着を育む構成がなされている。</p>
46 帝 国	<p>(1) 日本の国土や社会生活についての理解を深めるために、立体感あふれる地図表現を用いたり、くらしや風土が分かる主題図を多く掲載したりしている。</p> <p>(2) 統計資料の掲載や「地図のなりたちとやくそくごと」の記述などで、資料活用能力を育てる工夫がなされている。</p> <p>(3) 宮崎県図や「歴史の舞台になった場所」の中で、西都・児湯地域の歴史に触れることで、地域に対する理解と愛着を育む構成がなされている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地図の見方や調べ方のページを巻頭部分に設けることで、教科書内容を補充したり、地図活用の技能を生かしたりすることができるような構成にしている。</p> <p>(2) 地図を活用した学習を進めるために、地図を大きく提示するとともに、男女のキャラクターが地図活用の手掛かりを示すことにより、児童が主体的に学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 地図の見方や調べ方のページを巻頭部分に設けることで、発展的な学習において資料を活用したり、地図活用の技能を生かしたりすることができるような構成にしている。</p> <p>(2) 地図を活用した学習を進めるために、絵図を多く提示するとともに、キャラクターが資料の読み取りや思考の手掛かりを示すことにより、児童が主体的に学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 方位、土地の高さ、地図記号、距離と縮尺、土地利用などの地図活用の基本的な技能について、キャラクターの吹き出しを生かして丁寧に解説したり、地球儀の使い方について写真で分かりやすく説明したりするなど、地図活用の技能が確実に習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 統計資料や索引を巻末にまとめて掲示したり、著名な都市については大きく表現して様々な情報を盛り込んだりすることで、児童が主体的に地図帳を活用していけるような工夫がなされている。</p>
46 帝 国	<p>(1) 方位、土地の高さ、地図記号、距離と縮尺、土地利用などの地図活用の基本的な技能について、写真や絵図を多く掲載して丁寧に解説したり、地球儀の活用法について写真と文章で分かりやすく説明したりするなど、地図活用の技能が確実に習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 統計資料や索引を巻末にまとめて掲示したり、「注目しよう」「トライ！」などのコーナーを設けたりすることで、児童が主体的に地図帳を活用していけるような工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 内容を説明する文だけでなく、キャラクターからの質問や謎解きが随所に掲載されており、児童の思考を促すなどの言語活動の充実を図る配慮がされている。
46 帝 国	(1) 内容を説明する文だけでなく、キャラクターが随所に登場して楽しく取り組める問題が掲載されており、主体的な学習を促すなどの言語活動の充実を図る配慮がされている。

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補足的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 日本で起こった自然災害を巻末に例示し、その要因について考えたり、今後の防災について関連させたりするなど、発展的な学習ができる工夫がされている。</p> <p>(2) 日本の歴史と文化に関する地図では、各地の名所や祭りを絵図や写真で紹介するとともに、日本の世界遺産について写真付きで詳しく取り上げ、発展的な学習ができるような工夫がなされている。</p> <p>(3) 日本の産業の様子が分かる主題図や統計資料を掲載したり、多様なキャラクターの吹き出しで児童の活動を促したりするなど、個に応じた配慮や工夫が行われている。</p>
46 帝 国	<p>(1) 日本で起こった自然災害を巻末に例示し、災害を防ぐ工夫を考えたり、実際に防災マップづくりを行ったりするなど、発展的な学習ができる工夫がされている。</p> <p>(2) 日本の歴史と文化に関する地図では、歴史年表やその舞台となった場所を絵図や写真で紹介するとともに、伝統工芸品の生産都市を示したりして、発展的な学習ができるような工夫がなされている。</p> <p>(3) 日本の産業の様子が分かる主題図や統計資料を掲載したり、キャラクターの吹き出しによって児童の活動を促したりするなど、個に応じた配慮や工夫が行われている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 本地域で重視する利便性の向上については、児童が情報を読み取りやすいように、A4版の特性を生かして、豊富な資料を同一の紙面に収めたり、文字や記号を大きく分かりやすくしたりしている (2) 各ページに、興味を引く写真やイラストが数多く掲載されて、児童が楽しく学習できる工夫がされており、理解を深めることができる。
46 帝 国	(1) 本地域で重視する利便性の向上については、児童が情報を読み取りやすいように、A4版の紙面に複数の資料を効率的に配置したり、地名を正しく読めるように全ての地名にふりがなを付したりしている。 (2) 各ページに、日本全体における位置表示や地図記号が掲載されて、児童が調べやすい工夫がされており、理解を深めることができる。

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、「力をつけるもんだい」「しあげ」などを設け、補充問題や振り返りによる学習内容の習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「やってみよう」「考えよう 伝えよう」などを設け、言語活動や児童が相互に学び合う場面を重視するなど工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、「レッツトライ」「まとめの練習」などを設け、補充問題や振り返りによる学習内容の確実な習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「算数たまたばこ」を設け、学習事項を活用する問題を設定するなど工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、「確かめよう」「力だめし」を設け、補充問題や振り返りによる学習内容の確実な習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「チャレンジ」を設け、習得した知識・技能を活用する活動を設定するなど工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、「ステップアップ算数」や「力をのばそう」を設け、補充問題や振り返りによる学習内容の確実な習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「学んだことを使おう」を設け、学習したことを生活に生かせるようにするなど工夫している。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、各時間、各単元の終わりに「もっと練習」や「たしかめましょう」を設け、補充問題や振り返りによる学習内容の確実な習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「学びを生かそう」「もっと学びを生かそう」など既習事項を活用する単元を設定するなど工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 知識及び技能の確実な習得のために、「ステップアップ練習」や「たしかめポイント」などを設け、補充問題や振り返りによる学習内容の確実な習熟や定着を図っている。</p> <p>(2) 算数を進んで活用しようとする態度を育てるために、「活用」「学びを深めよう」などを設け、身近な生活や他教科との関連を図った問題を設定するなど工夫している。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、実生活の中にある様々な場面を設定することで課題を発見できたり、単元末や学年末に「しあげ」等の問題を設けることで自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、学習内容を年間通じて計画的、段階的に指導できるように配列している。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、導入段階で絵や写真、吹き出しを効果的に用いて関心をもたせたり、補充問題が必要な時に「レッツトライ」で自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、合本により学習内容の系統性を活かして学習できるとともに、学年間の単元を計画的に配列している。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、日常生活から題材を取り上げたり、側注に学びの手引を入れたり、単元末の「力だめし」にチェック欄を設けることで自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、既習事項を振り返る場を効果的に設けるとともに、単元を系統的・発展的に配列している。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、問題意識を共有して学習に取り組めるようにしたり、吹き出しにより表記したり、単元末に「まとめ」等を設けることで自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、習熟が必要な基礎的内容は、早い時期に指導するように単元を配列している。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、導入段階で課題を日常生活や学んだことと関連付けて示すことで問題解決の見通しがもてたり、単元末の「たしかめましょう」を設けることで自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、習熟の時間を計画的に確保できるよう領域全体のバランスを考え、系統的に単元を配列している。</p>
116 日 文	<p>(1) 児童が進んで学習に取り組むために、側注の言葉を問題解決の見通しや話合いのヒントにできるようにしたり、巻末に「算数マイトライ」を設けることで自己評価できたりするように構成している。</p> <p>(2) 発達段階に応じて目標を確実に達成させるために、習熟の必要な内容は早い時期に指導できるようにするとともに、領域ごとに関連付けて単元を配列している。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「力をつけるもんだい」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうとする態度を養うために、単元末に、既習知識や技能を活かして取り組む体験的活用「やってみよう」を設けている。</p> <p>(3) 第3学年以降に、「おもしろ問題にチャレンジ」を設けることで、算数の面白さを実感しながら探究的な学習活動ができるように配慮している。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「まとめの練習」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうとする態度を養うために、数学的な思考力・表現力を養う興味深いトピック教材「算数たまたばこ」を各単元に設けている。</p> <p>(3) 第6学年に「わくわくミュージアム」を設けることで、小学校での学習事項を生かし、算数の面白さを実感しながら探究的な学習活動ができるように配慮している。</p>
11 学 図	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「力だめし」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうとする態度を養うために、実生活において実践できる問題「チャレンジ」を特設ページに設けている。</p> <p>(3) 第6学年に別冊「中学校へのかけ橋」を設けることで、小学校で習得した知識・技能を活用して、中学校の初歩的な学習へのつながりを持たせるように配慮している。</p>
17 教 出	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「まとめ」や「ちからをのぼそう」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうとする態度を養うために、実生活で活用することで学ぶよさを実感できるような特設問題「学んだことを使おう」等も設けている。</p> <p>(3) 第2学年以降に「算数ワールド」を設け、算数と実生活とのつながりをもたせることで、発達段階に応じて探究的に学習活動ができるように配慮している。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「たしかめましょう」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうとする態度を養うために、生活体験と学習体験を関連させて活用するよさを実感できる問題「学びを生かそう」を設けている。</p> <p>(3) 第3学年以降に「みらいへのつばさ」では、算数での学習と実生活におけるつながりや広がりを実感させて、探究的な学習活動ができるように配慮している。</p>

発 行 者	概 評
116 日 文	<p>(1) 基礎的・基本的内容を定着させるために、単元全体の知識・技能の確実な習得を図る「たしかめポイント」を各単元末に構成している。</p> <p>(2) 学んだことを生活に活かそうする態度を養うために、習得した知識・技能を応用して取り組む算数的活動「いち・に・算活」を設けている。</p> <p>(3) 第2学年以降の巻末「学びを深めよう」では、算数科と他教科とのつながりや広がりを実感させることで、探究的な学習活動ができるように配慮している。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、自分や友だちの考えを式や図などを用いて表したり、言葉で説明したりする活動を取り扱うことで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、ノートの書き方や工夫、学習感想などを学年に応じて例示することで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、児童の思考にそった複数の考え方を例示し、それを基にした話合いの場を多く設けることで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、2年以上の各学年の巻頭に、学習の流れに沿ったノートのまとめ方を例示することで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、説明の文型や算数用語などを説明したり、絵や図、式を使って自分の考えや理由を説明する場を設けたりすることで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、学年に応じて具体的な学習内容に関連させながら、ノート見本を例示することで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、友だちとの考え方の共通点・相違点に気付かせるとともに、既習事項を整理した「学びの手引き」を設けることで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、例示したノート見本を通して、友だちのノートのよさに気付く活動を行うことで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、図や式を使った説明の方法を紹介したり、図や式、グラフなどを用いながら、言葉で伝え合う場を設けることで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、例示したノート見本の比較を通して、よいノートにするポイントに気付かせすることで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動の充実を図るために、言葉や式、図などを結びつけて説明する場を設けるとともに、絵や図、数直線の読み方・かき方を取り扱うことで、数学的な思考力・表現力を育て、本地域の課題である「活用する力」を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ノート指導の充実のために、思考の流れを図や式と言葉に関連づけて説明しているノートを例示することで、思考力や表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が第3学年以降の巻末「おもしろ問題にチャレンジ(解答)」として、評価・習熟問題が第2学年以降の単元末「しあげ」及び巻末「ほじゅうのもんだい(解答)」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、全学年で適宜「おぼえているかな?(解答)」が設けられ、前単元までの学習内容を確認するとともに、次単元に必要な既習事項を復習できるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が「もっと算数たまてばこ(第2学年以降)・算数たまてばこ(第1学年以降)」として、評価・習熟問題が「まとめの練習(第1学年以降)」及び巻末「レッツトライと解答(第2学年以降)」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、全学年で「ふくしゅう」が設けられ、前単元までの学習内容を確認するとともに、次単元に必要な既習事項を復習できるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が全学年の巻末と単元間に適宜「チャレンジ」として、また、評価・習熟問題が単元末「力だめし(第1学年以降適宜)」及び、巻末「ほじゅう問題と解答(第2学年以降)」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、第2学年以降で学期ごとに「ふくしゅう(解答)」が設けられ、その学期に学習した単元を振り返りながら復習できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が全学年の単元間に適宜「(はってん)算数ワールド」として、また、評価・習熟問題が第2学年以降の巻末「ステップアップ算数(解答)」及び各単元末「ちからをのぼそう」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、第2学年以降に適宜「学習をふり返ろう(解答)」が設けられ、これまでの学習内容を確認するとともに、次単元に必要な既習事項を復習できるような工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が全学年の巻末と単元間に適宜「学びをいかそう」として、また、評価・習熟問題が第2学年以降の各単元末「たしかめましょう(解答)」及び巻末「もっと練習(解答)」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、単元末の「算数アスレチック」に「ふくしゅう」「じゅんぴ」が設けられ、学習内容の理解を確認しながら、反復練習を通して基礎・基本の確実な定着が図れるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
116 日 文	<p>(1) 児童一人ひとりが学習状況などに応じて活用できるように応用的・発展的問題が第2学年以降の巻末「ぐっとチャレンジ(解答)」として、評価・習熟問題が全学年の単元末に適宜「たしかめポイント」及び巻末「じっくりチェックと解答(第2学年以降)」として設けられている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の確実な定着に関して、全学年で「ふくしゅう」が適宜設けられ、2～3単元ごとに学習内容を振り返り、定着度の向上が図れるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、キャラクターの吹き出しや活動に取り組む児童の絵や写真などをもとに、児童が主体的に学習できるように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、2年下巻以降の各巻に学び方が分かる「考えよう 伝えよう」を設け、児童が意欲的に考え、表現できるように工夫されている。
4 大 日 本	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、全学年共通のキャラクターや子どものキャラクターの吹き出しにより、児童が主体的に学習できるように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、全学年の教科書を学年1冊にし、児童にとって、振り返りが容易で分かりやすくなるように工夫されている。
11 学 図	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、絵や子どものキャラクターの吹き出しを効果的に使用し、児童が主体的に学習できるように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、側注欄に算数的活動を進めるヒントを示し、児童が分かりやすく学習できるように工夫されている。
17 教 出	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、案内役の子どもの絵や、学習をナビゲートするキャラクターの吹き出しにより、活動の手順やポイントが分かるように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、第2学年以降の各単元末に、4コマ漫画によるまとめが設けられ、学習の流れに沿って内容を振り返ることができるように工夫されている。
61 啓 林 館	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、児童が活動する様子を絵や写真で示し、さらにキャラクターの吹き出し等で具体的な操作をイメージできるように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、全学年の巻末に「切り取り教具」が設けられ、算数的活動に意欲的・効果的に取り組む事ができるように工夫されている。
116 日 文	(1) 児童の興味関心や利便性への配慮から、単元の導入部分で絵や写真などを使い、さらにキャラクターの吹き出し等で問題の内容がイメージしやすいように構成されている。 (2) 児童の理解を助けるために、教科書の横を長くしてあることで構成にゆとりがあり、側注のヒントで児童が主体的に学習できるように工夫されている。

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 知識や技能の確実な習得を目指して、単元末の各問題を観点別評価の観点に沿ったものとするこゝで、児童の定着状況が確認できるように工夫している。</p> <p>(2) 学習した内容を活用して導入の内容や身近な生活事象を説明する場面を取り上げて児童の興味・関心が高まるようにし、拡大した写真を用いることにより、児童にわかりやすいように工夫している。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 知識や技能の確実な習得を目指して、問題を解決する探求的な学習活動を行うこゝで、見通しをもって学習することができ、定着状況が確認できるように工夫している。</p> <p>(2) 学習した内容が実社会、実生活で活用されていることを例示して児童の興味・関心が高まるようにし、身近な話題や生活を想起させる写真やイラストを用いて、児童にわかりやすいように工夫している。</p>
11 学 図	<p>(1) 知識や技能の確実な習得を目指して、問題→話し合い→観察・実験→結果→考察→まとめといった一連の問題解決の流れを明示することで、定着状況が確認できるように工夫している。</p> <p>(2) 生活場面から入る導入や生活経験を想起させる場面を随所に取り上げて児童の興味・関心が高まるようにし、大きな写真や絵など視覚的な資料を提示して児童にわかりやすいように工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 知識や技能の確実な習得を目指して、基礎的・基本的な知識を繰り返し用いるように構成することで、定着状況が確認できるように工夫している。</p> <p>(2) 学習と関連ある専門家のメッセージを巻頭に掲載して児童の興味・関心を高め、地域の特性や時間・天気に関係ある物等は美しい写真や図を豊富に掲載し児童にわかりやすいように工夫している。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 知識や技能の確実な習得を目指して、観察・実験の結果や考察を記録する学習活動を大切に、実践にもとづいた児童の記述を例示することで、定着状況が確認できるように工夫している。</p> <p>(2) 実社会と関連した内容をビジュアルな紙面で表して児童の興味・関心が高まるようにし、鮮明な写真や児童の目線で撮った写真、効果的なイラストを配置して、児童にわかりやすいように工夫している。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童が見通しをもって学習できるようにするために学習の流れや注意点をはじめに明示し、わかりやすく主体的に学習できるように工夫している。</p> <p>(2) 巻頭に「〇年ではどんなふしぎに出会うのかな」というタイトルを設定するとともに、学習する内容を大まかなまとまりで表示することによって、単元の構成や配列がわかりやすいように工夫している。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童が見通しをもって学習できるようにするために巻頭に「理科の学び方」を提示し、児童が自主的に学習を進めることができるように工夫している。</p> <p>(2) 各学年の目次の紙面にメッセージを掲載するとともに、各単元の内容に応じて色分けすることやページ数を見やすくすることによって、単元の構成や配列がわかりやすいように工夫している。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童が見通しをもって学習できるようにするために問題解決の学習の流れをサイドバーに示し、学習課題が常に明確になるように工夫している。</p> <p>(2) 各学年の目次が分野ごとに色分けされ、系統がわかるように明示されるとともに、関連の深い単元を線で結んだり、位置を変えたりすることによって、単元の構成や配列がわかりやすいように工夫している。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童が見通しをもって学習できるようにするために巻頭に「学習の順序」やマークの意味を明示し、学習方法を確認しながら学習を進めることができるように工夫している。</p> <p>(2) 各学年の目次のページに前学年で学習した内容のコーナーを設けて掲載するとともに、巻末に次学年や中学校で学習する内容を提示することによって、単元の構成や配列がわかりやすいように工夫している。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 児童が見通しをもって学習できるようにするために、巻頭に「学習の順序」を示し、単元ごとに関連した数字や言葉を使い、学習の順序が身に付くように工夫している。</p> <p>(2) 巻頭に各単元と関連する大きめの写真を使ったり単元ごとに色分けしたりするとともに、目次に学習する項目を箇条書きで提示することによって、単元の構成や配列がわかりやすいように工夫している。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 各単元のまとめの段階では、「たしかめよう」のコーナーを設け、観点別評価の観点に沿った問題で確実に既習事項が習得できるように工夫している。 (2) 単元の導入や「理科のひろば」のコーナーの資料から、生活事象と関連させて考えをもつことができるように工夫され、本地域で重視している児童が身近に感じられる資料となっている。
4 大 日 本	(1) 各単元のまとめの段階では、「確かめよう」「学んだことを生かそう」のコーナーを設け、科学的な用語や概念の習得が図られるように工夫している。 (2) 各単元に「りかのたまてばこ」「学んだことを生かそう」のコーナーを設け、学習したことと身近な生活との関連が図られるように工夫され、本地域で重視している児童が身近に感じられる資料となっている。
11 学 図	(1) 各単元のまとめの段階では、「ふりかえってみよう」のコーナーと同じページに「大事な言葉」が明示してあり、基礎用語の定着が図られるように工夫している。 (2) 「人や動物の体」など、子ども達の身近な生活体験から学習の展開が図られるように工夫され、本地域で重視している児童が身近に感じられる資料となっている。
17 教 出	(1) 各単元のまとめの段階では、「確かめ」のコーナーを設け、問題のそばに関連ページを明示することで、児童が主体的に既習事項の確認をすることができるように工夫している。 (2) 「身のまわりのてこ」や「身のまわりの電気」など実生活の事象が資料とともにとりあげてあり、学びとつなげることができるように工夫され、本地域で重視している児童が身近に感じられる資料となっている。
61 啓 林 館	(1) 各単元のまとめの段階では、別冊教科書「わくわく理科プラス」を設け、児童が主体的に学習を振り返ることができるように工夫している。 (2) 巻末の「地域資料集」や単元末の「ひろげよう」を設け、地域とのつながりや実生活における事象との関連が図られるように工夫され、本地域で重視している児童が身近に感じられる資料となっている。

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 言語活動を充実させるために、ノートや記録カードの書き方を巻末資料に掲載したり、ノートを例示したりして科学的な記録の仕方が身に付くように工夫している。 (2) 言語に関する能力を高めるため、観察・実験前後の「予想しよう」「計画しよう」「考えよう」で、吹き出しを利用し、話し合い等の言語活動が活発に行えるように工夫している。
4 大 日 本	(1) 言語活動を充実させるために、発想や表現力を引き出せるよう、ノートや記録カードの例示等を掲載し、科学的な記録の仕方が身に付くように工夫している。 (2) 言語に関する能力を高めるため、問題解決の過程で、自分の考えを伝えたり、人の意見を聞いたりする情報交換の場面を取り入れ、言語活動が活発に行えるように工夫している。
11 学 図	(1) 言語活動を充実させるために、巻末資料「記録する」で、ノートの仕方が順序立てて説明してあり、自分の考えや活動を記録しまとめあげる能力が身に付くように工夫している。 (2) 言語に関する能力を高めるため、問題解決の流れに沿って、「話し合い」という学びの流れを設定し、思考力・表現力の育成のために工夫している。
17 教 出	(1) 言語活動を充実させるために、問題を解決する過程を書き示す等のノートの使い方を掲載することにより、自らの思考の流れを確認し、書く力が身に付くように工夫している。 (2) 言語に関する能力を高めるため、吹き出しやイラストを用いながら話し合う場面を設定し、いろいろな立場から意見交換を行い、結論の共有化を図るために工夫している。
61 啓 林 館	(1) 言語活動を充実させるために、予想、考察の場面で、ノートや記録カードの例を豊富に取り上げ、考察の仕方が身に付くように工夫している。 (2) 言語に関する能力を高めるため、予想や考察で、イラストの吹き出しを用いながら「話し合い」の場面を設け、意見交換ができるように工夫している。

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補足的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 単元末の「たしかめよう」では、既習事項をふり返り、学習の定着度を自己評価できる。「ふりかえろう」で自主的に復習できるように工夫している。 (2) 単元末の「理科のひろば」で児童の興味・関心が広がるように、既習した内容について身近な例を提示して個に応じた発展学習ができるように工夫している。
4 大 日 本	(1) 単元末の「たしかめよう」では、既習事項が身に付いているか、自己評価できる。「学んだことを生かそう」では、説明により科学的な考え方が高められるように工夫している。 (2) 資料「りかのたまてばこ」「ジャンプ」「学んだことを生かそう」で、既習事項を実社会や実生活で活用することを意識して発展学習ができるように工夫している。
11 学 図	(1) 単元末の「ふりかえってみよう」で既習事項が身に付いているか自己評価できる。また、関連する本文の記載ページを示し、自主的に復習できるように工夫している。 (2) 「活用、学びを生かそう」では、学習したことを応用したり、身のまわりの事象に適用したりし、思考力・表現力の育成が図られ、発展学習ができるように工夫している。
17 教 出	(1) 単元末の「確かめ」で既習事項が身に付いたか自己評価できる。「学んだことを使おう」では習得した知識や技能を、日常生活へ応用することができるように工夫している。 (2) 「学んだことを使おう」では、ものづくりをしたり、身のまわりで見られる事象を説明したりする場面を設け、自主的に発展学習ができるように工夫している。
61 啓 林 館	(1) 単元末の「たしかめよう」で既習事項が身に付いたか自己評価できる。「力だめし」では、図表から必要な情報を読み取る問題を多く扱い、応用力が養えるように工夫している。 (2) 単元末の「ひろげよう」では実生活と関連した内容を掲載することにより理科を学ぶ有用性を実感し、学習への興味・関心を深め、発展学習ができるように工夫している。

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、身近な道具を使った実験方法にしたり、巻末に付録を掲載したりしている。 (2) 児童に分かりやすくするために、拡大した写真や実物大の写真を適宜用いて、観察、実験の細部や動植物のつくり等を明確に表現している。
4 大 日 本	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、時間の経過がわかる連続写真にしたり、拡大した写真・イラストを掲載したりしている。 (2) 児童に分かりやすくするために、器具の操作方法を、観察・実験と同じ見開きページに配置し、明確に表現している。
11 学 図	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、植物の栽培計画、調べ方や道具の使い方を目次で紹介したり、巻末に資料を掲載したりしている。 (2) 児童に分かりやすくするために、学習課題や問題解決の流れ、言葉の解説、他教科との関連性等をサイドバーに明確に表現している。
17 教 出	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、「学習の順序」で思考の流れを可視化したり、巻末に資料を掲載したりしている。 (2) 児童に分かりやすくするために、学習の系統性を明示したり、実物大の人体内部のイラストを用いたりして明確に表現している。
61 啓 林 館	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、単元ごとのまとめを手描きのイラストにしたり、巻末に資料を掲載したりしている。 (2) 児童に分かりやすくするために、単元の最初のページにめあてを明示したり、観察・実験の手順を示す文を矢印で結んだりして明確に表現している。

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 自立への基礎を養うために、学習活動の道筋が見え、児童が見通しをもって意欲的に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、気付きの具体例や身に付ける習慣や技能などを示し、児童の活動意欲を高めることができるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 自立への基礎を養うために、活動の場面やかかわり方を写真や絵で示し、児童が主体的に活動することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、写真や様々な仕掛けのページなどで、児童の活動対象への興味・関心を高めることができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 自立への基礎を養うために、学習の展開をかかわり方の段階で構成し、自ら学び方を身に付けていくことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、具体的な展開例が示され、児童がそれらを参考にしながら活動を広げていくことができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 自立への基礎を養うために、活動のねらいや流れを分かりやすく示し、児童が意欲的に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、思考と表現の一体化を図り、書くことを重視するとともに、知識や技能が習得できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 自立への基礎を養うために、活動の流れと要点を写真やイラスト、言葉かけで示し、関心を喚起することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、方法や手順など、生活上必要な習慣や技能を活動の流れの中で、自然に身に付けることができるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
61 啓 林 館	<p>(1) 自立への基礎を養うために、単元の活動の流れを分かりやすく示し、児童が自ら気付きの質を高めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、教師の投げかけや児童の思いや願いをもとに、活動の流れやめあてをつかむことができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 自立への基礎を養うために、児童が主体的に学習課題に向き合い、協同しながら学習を展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、活動例を具体的に示し、経験を繰り返す過程で、自然に身に付けていくことができるような工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、スタートカリキュラム「すたあとぶっく」を特設し、入学当初の児童が活動への意欲をもつことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、季節の流れを軸に活動を構成し、上下巻を通じて、無理なく、主たる活動の場を広げていくことができるような工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、幼稚園や保育所で馴染みのある活動からスタートし、無理なく学校生活を始めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、季節に沿った単元構成で、人・社会、自然を生かした一体的な流れの中で、無理なく活動展開をすることができるような工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、学習活動の展開を分かりやすく示し、児童が主体的に活動することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、季節の変化に沿って単元を位置付け、上下巻とも、各単元終了後に、日常生活に活かす活動に発展させることができるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、活動の仕方や考え方を写真やイラスト、吹き出しなどで示し、児童が主体的に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、幼児教育から小学校への円滑な接続を図り、幼児と一緒に活動を行うことで、児童が自らの成長を実感することができるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、活動のまとまりごとに単元を構成し、地域や学校、児童の実態に応じて柔軟に活用することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、各単元は、ホップ、ステップ、ジャンプの3段階で構成され、児童の思考の流れで無理なく学習を展開することができるような工夫が見られる。</p>
61 啓 林 館	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、季節の変化を軸に、身近な生活から地域へと対象を広げ、無理なく学習を展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、ストーリー性のある4段階の単元構成を通して、児童が学習の流れやめあてを理解しながら活動を深めることができるような工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
116 日 文	<p>(1) 低学年児童の主体的な学習を促すために、絵本のように左から右へストーリーが展開する構成で、活動の流れをつかむことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 低学年児童の発達における特性を生かして目標を達成するために、上下巻それぞれの主人公を設定し、主人公の成長を読み取ることを通して、児童が共感的に学習を展開していくことができるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、「見つける」「比べる」「たとえる」など、気付いたことを基に考えさせるための多様な活動例を充実させることにより、活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、対象との出会いを効果的な写真で提示したり、吹き出しで活動場面での心情面を示したりなどしながら気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、透明シートの口絵や野原のビンゴゲーム、夜のたんけんライトなど楽しい様々な「仕掛け」のページを工夫することにより、活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、「正解」を伏せ、自分たちで考えることを促す表現を多用し、自分自身で考えさせるなどしながら気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、「ものしりノート」を通して児童の主体的な活動を支援する様々な資料を盛り込み、地域や学校の実態、児童の願いに応じて、活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、「チャレンジずかん」を設け、多様な活動を展開しながら単元の学習をさらに広げるなどして、気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、「ぐんぐんポケット」を巻末に設け、関連性を示すことにより、活動の過程で身に付けるべき技能や習慣などを習得し、活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、「おうちでちゃれんじ」を活用することで、学習したことを家庭や地域に広げながら気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、活動の流れとポイントを分かりやすく示し、活動を深めるヒントを豊富に用意することにより、学びを後押しし活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、「どうすれば、いいかな」のコーナーで視点や活動を広げるヒントを示すことにより、気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>

発 行 者	概 評
61 啓 林 館	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちゃれんじ」の4段階の紙面構成にすることにより、単元を通して活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、別冊教科書に実物大資料や付随する資料を掲載することにより、野外で役立てるようにし、気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 児童の興味・関心に応え、主体的に取り組めるように、児童のつぶやきや教師の台詞を示すことにより児童の思考力を豊かにしたり、活動のきっかけをつくるために豊富なカードを使用したりすることにより、活動を広げたり、発展させたりできるような構成がなされている。</p> <p>(2) 本地域において重視する探究心を促し、意欲的に活動するために、春、夏、秋、冬の公園での定点観測を掲載し比べることで、自然に対する不思議さや面白さについて気付きの質を高めることができるように工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 言語活動を充実させるために、活動を振り返り、気づきを多用な方法で表現する学習活動を充実させたり、伝え合い、交流して、気付いたことを基に考える学習活動例を掲載したりすることにより、気づきの質を高める配慮がされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、教科書から図鑑が切り離せ、野外での活動場面で活用できるようにしてあったり、「べんりてちょう」で、習慣や技能等を習得できるようにしてあったりなど、児童の主体的な活動を促すための配慮がなされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 言語活動を充実させるために、伝え合いや話合いの場면을数多く例示し、そこで活用される言葉を大切にするなど国語との関連を重視するとともに、「せいかつことば」も適宜示し、気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、児童の活動対象への興味・関心が高まるような透明シートの口絵、野原のビンゴゲーム、夜のたんけんライト等を掲載するなど様々な「仕掛け」のページを工夫する配慮がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 言語活動を充実させるために、表現活動においては、手紙、作文、カード、グラフ、壁新聞、地図など多用な表現活動を例示したり、国語や算数、図工、音楽など、他教科との合科的な扱いをしたりするなど、気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、各大単元の学習後に、巻末の「きみならどうする」に連動するような構成がしてあり、日常生活の中でよく起こる課題をこれまでに学習したことを生かしながら解決する方法を示すなどの配慮がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 言語活動を充実させるために、体験したことを、伝え合い、学び合い、交流しながら、さらに深い学びへと発展させることができるように、各単元で適切な「伝え合い」の活動を設定することにより、気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、「はっけんヒント」コーナーを設け、学習のヒントや注意事項を明確にするとともに児童の考えを表現に生かすカード例を数多く掲載するなど児童が主体的に活動ができるような配慮がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 言語活動を充実させるために、表現したい内容や目的に応じた多様な言語活動の例を示したり、それぞれが書いたカードを掲示物にまとめ、表現したものをさらに活用する例を取り上げたりするなど、気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、単元末に単元の活動に関連する資料ページ「もっとやってみたい」を掲載することで活動や気づきのヒントとなり活動への意欲につながるような配慮がなされている。</p>

発 行 者	概 評
61 啓 林 館	<p>(1) 言語活動を充実させるために、児童自身の社会性（ソーシャルスキル）を養うための資料を提示したり、低学年に無理がない範囲で情報の収集や発信、交流などを紹介したりすることにより、気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、児童にも先生にも分かるように活動の流れを示したり、さし絵の中で観点を明示したり、巻末の図鑑に植物等の名前や遊びを集めたりするなどの工夫が見られ、活動を連続的に行うことができるような配慮がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動を充実させるために、児童の活動のきっかけや観点を示唆する豊富なカードを掲載したり、巻末にどの単元でも使えるような内容で、話し方や聞き方について示したりするなど気づきの質を高める配慮がなされている。</p> <p>(2) 教科の指導の充実を図るために、「きせつだより」のコーナーで児童が地域の行事に目を向け、地域の状況に応じた活動がなされるようにしたり、児童の表現作品を多く示したりなどの配慮がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童の学びを広げるために、「やくそく」コーナーを必要に応じて右端に掲載したり、巻末の「べんりてちょう」の関連ページを適宜示したりして、児童がそれぞれの興味・関心に応じて学習を進めるための配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、キャラクターが細かく視点を示したり、いろいろな体験活動の例を多数掲載したりするなど、児童の気付きを補充し、表現活動に広がりをもたせるような工夫がなされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童の学びを広げるために、ページの右端に「せいかつのことば」コーナーを設けたり、伝え合いや話合いの場面を多く取り入れたりするなど児童が自然な形で活動や知識を発展させることができるような配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、巻末に幅広いジャンルの資料ページとして「がくしゅうどうぐばこ」を掲載し、一人ひとりの生活習慣の習得や児童同士・児童と大人との会話や交流を活性化させるような工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童の学びを広げるために、「せいかつか学びかたずかん」「あんぜんのページ」「生きものずかん」「きみならどうする」を掲載し、生活上必要な習慣を身に付けさせるような配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、児童と同年齢のキャラクターが展開したり、学び方が分かるような構成により個々の児童が自ら課題を見つけたりなど、自ら課題解決していくための方略ができるように工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童の学びを広げるために、ねらいや活動の流れがくっきり見えるように「ナビゲートライン」を設け、単元の流れの他に、巻末資料への誘導や教科関連マークでの他教科への発展が掲載され、発展学習しやすいような配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、学びの窓を増やす「ポケット」を巻末に設け、身に付けさせたい習慣や技能を何度も繰り返し活用できるようになっており、各単元末には自己評価をする「ふりかえり」を設定し、自ら学ぶ工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 児童の学びを広げるために、ホップ・ステップ・ジャンプの3段階構成となっており、さらに単元の活動に関連する資料ページが巻末に掲載されているなど、主体的に学び、さらに発展的な活動の選択ができるような配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、「どうすればいいかな？」のコーナーを設け、自ら考えることの楽しさや面白さが実感できるようにし、多様な言語活動の例が示してあるなど、児童が自らの学びに合わせて学習できるような工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
61 啓 林 館	<p>(1) 児童の学びを広げるために、「導入」(わくわく)・「主な活動」(いきいき)・「交流活動」(つたえあう)に加えて、「広げて深める」(チャレンジ)の4段階の紙面構成で児童が発展的な学習ができるような配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、本文に児童の思いや願いが吹き出しの形で随所に入れられ、児童の気持ちに添うようになっているなど、児童が自らの学びに合わせて学習できるような工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 児童の学びを広げるために、児童が感情移入しやすいキャラクターが上・下巻それぞれに設定され、授業の幅を広げる「側欄」「めぐり」「リンク」を設定されるなど発展的な学習につながりやすい配慮や工夫がなされている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、気付くヒントになるような多様なカードが例示してあり、巻末の「なんでもずかん」は、どの単元でも使え、発展的な内容も豊富に掲載されており、別途図鑑等を用意しなくてもいいなどの工夫がなされている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、イラストと写真がバランスよく効果的に使用され、様々な植物の生長の変化の写真など児童の視覚に訴えるものが多く、学習効果を高める工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、各単元とも紙面の要素の位置を固定した紙面構成になっており、上巻巻末の「ポケットずかん」は、サイズが小さく厚めの用紙でできており、必要に応じて切り離せるなど工夫がなされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、楽しい仕掛けの透明シートの口絵や野原のビンゴゲーム、夜のたんけんライトなどがあり、児童が楽しく進んで学習し、学習効果が高まる工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、親しみのあるキャラクターが活動への意欲を触発し、気付きを生み、その質を高めるように配置してあったり、見出しの文字が季節の葉の上に書かれていたり工夫がなされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、上下巻巻末に「まなびかたずかん」を設け、生活科の学習で役に立つ、話す、聞く、見るなどの、基本的な学習方法を示すなど児童の活動への意欲を喚起し、気付きを促すように工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、「せいかつか学びかたずかん」「あんぜんのページ」「生きものずかん」「きみならどうする」のコーナーを掲載し、目的に応じて活用できるような工夫がなされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、学習のねらいや関連する情報を見開きページの左端にまとめ、写真やさし絵、児童が作成したカードを配置し、児童の活動への意欲を喚起し、気付きを促すように工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、目次に教科書の使い方が示され、同じ数字の巻末資料「ポケット」に関連させるようにしたり、振り返る活動を「カエル」のキャラクターとともに掲載したりと活用しやすい工夫がなされている。</p>
38 光 村	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、平易な言葉、流れや手順を示すイラスト、ダイナミックな写真が用いられ、すべての単元に「どうすれば、いいのかな」のコーナーを設け、児童の活動への意欲を喚起し、気付きを促すように工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、上・下巻に共通した人物を登場させたり、人物の表情豊かな写真やアップの写真を用いて見やすく配置したりと、目的に応じて活用できるような工夫がなされている。</p>

発 行 者	概 評
61 啓 林 館	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、紙面右下のスペースに次の活動につなげる子ども同士のやり取りや教室風景の黒板の利用など、単元全体を通して活動や流れを示すことで、児童の活動への意欲を喚起し、気付きを促すように工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、別冊教科書「せいかつたんけん」は、ミニサイズ（A5判）になっており、穴あけ加工が施されるなど児童が普段の生活の中で進んで手に取り活用しやすい工夫がなされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 児童にとって分かりやすいように、見開きページの右端に側欄、右下にめくりを定位置に設定し、アドバイスや活動の広がりなどをこの位置で補完しながら、児童の活動への意欲を喚起する工夫がなされている。</p> <p>(2) 児童にとって使いやすいように、キャラクターを適宜登場させ、子どもたちがキャラクターに感情移入しながら楽しんで学習できる配慮がなされ、巻末の「なんでもずかん」は、目的に応じて活用しやすい工夫がなされている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、音楽の基礎となる学習内容の精選及び焦点化が図られている。イメージを喚起する写真やイラストが掲載されるとともに、透明シートや両開きの折込ページも豊富に設定され、児童の音楽に対する興味・関心を高め、学習活動を充実していくことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 表現及び鑑賞の活動に必要な音楽的な能力を身に付けさせるために、学習のねらいや活動のポイント、音楽の要素や仕組みが具体的に示されるとともに、確かめや反復などができるようにされており、音楽の諸能力を経験的に培うことができるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、音楽の基礎となる学習内容の精選及び焦点化が図られている。学習内容で重要な部分が、図や言葉、吹き出し等で関連づけながらシンプルに分かりやすく配置され、児童の音楽に対する興味・関心を高め、学習活動を充実していくことができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 表現及び鑑賞の活動に必要な音楽的な能力を身に付けさせるために、音楽の要素や仕組みをもとに題材が構成され、音楽の要素や仕組みを相互的に関連させながら学習が進められるようにされており、音楽の諸能力を経験的に培うことができるよう工夫されている。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 児童一人一人が思いや意図をもって音楽活動を展開できるように、題材構成の仕方は、主要部分と選択部分の2部構成となっている。主要部分は、基礎となる学習内容を習得する題材群と、そこで習得したことを活用する題材群とで構成されている。また、「音楽ランド」など、地域や学校、児童の実態に応じて選択できる部分もある。</p> <p>(2) 学年の目標を達成するために、題材は、発達の段階を配慮し、6年間を通して活動を振り返りながら基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できるよう配列されている。また、題材の目標を達成するために、学習のねらいや活動のポイント、共通事項が明示され、児童が学習内容や活動を意識できるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 児童一人一人が思いや意図をもって音楽活動を展開できるように、題材構成の仕方は、主要部分と選択部分の2部構成となっている。主要部分は、題材ごとに通し番号が付けられ、基礎となる学習内容を習得し、それを活用する流れで構成されている。また、「みんなで楽しく」など、地域や学校、児童の実態に応じて選択できる部分もある。</p> <p>(2) 学年の目標を達成するために、題材は、6年間を通して段階的、系統的に発展する構成になっており、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるよう配列されている。また、題材の目標を達成するために、題材のねらいを踏まえた学習目標が明示され、児童が学習内容や活動を意識できるよう工夫されている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どの題材にも「学習のねらい」「活動のポイント」が記述の工夫により分かりやすく明示され、活動が進めやすいよう工夫されている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の習得について、音楽の要素や仕組みに関する内容は「音楽のもと」や巻末のページに、「新出事項」に関する内容は紙面両端に分かりやすく明示され、楽曲を通して確実に身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>(3) 学習内容の活用については、基礎・基本の定着を図る主要部分を習得、活用の二つの題材群に分け、ねらいをもって指導できるような題材が設定されている。さらに、見開き内で習得した内容を生かして「もっとあそぼう」のコーナーで活用できるよう工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、題材に通し番号が付けられ、どの教材にも「学習目標」「学習のヒント」が明示してあり、活動が進めやすいよう工夫されている。</p> <p>(2) 本地域で重視する基礎・基本の習得について、「学習活動文」や「学習情報」などの文章中に明示され、また、巻末の「ふり返りのページ」にも加えてまとめてあり、楽曲を通して確実に身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>(3) 学習内容の活用については、前の学年で習得したことが、次の学年で活用できるよう、6年間を通して系統的・段階的に学びが発展するような題材が設定されている。また、一つの題材を通して、習得したことを生かして活用できるよう配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 言語活動については、巻末の「音楽を表すいろいろな言葉」に言葉の例が示され、自分が見つけた言葉も書き込めるようになっている。また、鑑賞の題材にポートフォリオを設定したり、書いたことを友達に紹介したりする活動等を通して、指導ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 日本語の美しさを実感させるために、我が国の音楽や文化に関する題材は折込ページ等の写真や資料で印象付けたり、歌い継いでいきたい我が国の歌を「にっぽんのうた みんなのうた」として特設したりすることで、我が国の音楽のよさを感じ取り、言葉を音楽と結び付ける指導の工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 言語活動については、特に「音楽づくり」の領域において、自発的な言語活動が促進されるよう、吹き出しによる問いかけや、子どもたちの発言等が例示されている。また、音楽づくりや鑑賞を通して、グループ活動等によって互いに伝え合う活動が多く取り入れられ、指導ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 日本語の美しさを実感させるために、我が国の音楽や文化に関する題材を全学年通して設定し、歌詞や写真などを組み合わせて表したり、季節ごとに「こころのうた」「歌いつごう日本の歌」として特設したりすることで、我が国の音楽のよさを感じ取り、言葉を音楽と結び付ける指導の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 発展的な学習の取り扱いについては、4年生以上で「はってん」マークとして示され、また単元で扱った内容の発展として楽器や楽器の歴史についても学ぶことができるようになっており、必要に応じて発展的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 補充的な学習の取り扱いについては、資料等への関連を示す「リンク」マークを設けたり、「活動のポイント」を設けてヒントになる言葉が記されていたりすることで、学習の補充ができるようになっている。</p> <p>(3) 繰り返し学習の取り扱いについては、学習を振り返る「ふりかえる」マークを活用し、再度確認することで着実に基礎・基本が身に付くようになっている。また、声とリズムのトレーニングをねらった「スキルアップ」のコーナーを4年生以上に設け、美しい歌声のための練習と、簡単なリズムの練習に反復して取り組むことができるよう工夫されている。</p>
27 教 芸	<p>(1) 発展的な学習の取り扱いについては、「ステップアップ」として、3・4年生で休符とイ短調、5・6年生でへ長調と二短調の音階を学ぶことができるようになっており、必要に応じて発展的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 補充的な学習の取り扱いについては、共通歌唱教材のとなりに、曲に関するヒントが記されていたり、キャラクターを用いてヒントになる言葉が記されていたりすることで、学習の補充ができるようになっている。</p> <p>(3) 繰り返し学習の取り扱いについては、学習を振り返る「ふりかえりのページ」を活用し、大切なことが見やすくまとめられていることで着実に基礎・基本が身に付くようになっている。また、声の出し方や呼吸の仕方等についての「うたごえ」のコーナーを1年生から設け、段階に応じて発声練習に反復して取り組むことができるよう工夫されている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 表紙には、児童が楽しく楽器を演奏しているイラストを用い、音楽の学習に期待がもてるようになっている。また、4年生からは巻頭に国内外で活躍する音楽家からのメッセージ、全学年の巻末に「にっぽんのうた みんなのうた」を載せ、音楽をより深く知ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 本地域で重視する「基礎・基本の習得」及び「想像力豊に学習すること」については、教科書の大きさがAB判であり、児童のイメージを喚起する写真やイラストをふんだんに用い、透明シートや両開きの折込ページを設定することで、想像力豊かに学習を展開できるよう工夫がなされている。ページの右側に共通事項や新出用語が掲載されており、それらはすべて巻末の『音楽のもと』まとめにまとめてあり、児童が振り返りをしやすいよう工夫されている。</p> <p>(3) 楽譜の表記については、1音から音を少しずつ増やしながら表記し、2年生の早い段階から、それが五線譜につながるようになっている。また、鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入は、児童に分かりやすいよう、実物大の写真を使ったり、注意点を書き込んだりするなどの工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 表紙には、児童が楽しく楽器を演奏しているイラストを用い、裏表紙には各県の祭りや楽器も示され、音楽の学習に期待がもてるようになっている。また、3年生からは巻頭に「音楽のプリズム」、巻末に「音楽の歴史をつくった人」を載せ、音楽をより深く知ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 本地域で重視する「基礎・基本の習得」及び「想像力豊に学習すること」については、教科書の大きさがAB判であり、児童のイメージを喚起する写真やイラストをふんだんに用い、情景を思い浮かべながら想像力豊かに学習を展開できるよう工夫がなされている。ページの右側に題材名が掲載されており、学習内容として重要な部分が優先的に目に飛び込んでくるようになっている。また、巻末に「ふり返りのページ」があり、児童が振り返りをしやすいよう工夫されている。</p> <p>(3) 楽譜の表記については、イラストを使って音の高さをイメージしながら表記し、音の高さが十分身に付いてから五線譜につながるようになっている。また、鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入は、児童が運指を理解しやすいよう、上や横から見た手元の写真を載せたり、注意点を書き込んだりするなどの工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 本地域で重視する「自ら探究していく力の育成」については、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするために、児童作品を中心に児童の活動の様子を合わせ、紙面が構成されており、児童が直感的に題材の内容を理解でき、活動に取り組みやすいように工夫されている。</p> <p>また、題材ごとに、学習のめあて、題材名、学習活動への取り組み方が左上にまとめられている。また、各題材の右下に振り返りのコーナーが観点ごとに設けられ、児童が学習活動の終了後、自己評価がしやすくなっている。</p> <p>(2) 造形的な創造活動の基礎的な能力を養うため、児童の写真に吹き出しを用い、児童の言葉で思いや考えを示してある。また、製作過程を段階的に図や写真を用いて分かりやすく説明してあり、発達の段階に応じ、教科書を見ながら児童が進んで創造的に活動できるよう工夫されている。</p> <p>また、豊かな情操を養うために、「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」「ゆめをかたちに」では様々な造形活動や作品、作家の表現への思いを紹介したり、伝統的な表現や地域での造形活動を取り上げたりして、造形的な創造活動への意欲を高める工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 本地域で重視する「自ら探究していく力の育成」については、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするために、児童の活動の様子や作品例が多く紹介されており、表現及び鑑賞の活動の道筋が分かりやすく示され、題材に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>また、題材ごとに見開きになっているページが多く、領域、活動内容、題材名、取り組み方が左上にまとめられている。また、学習のめあてが、観点ごとに児童の立場でわかりやすく示してあり、目標を意識した学習活動が進められるようになっている。</p> <p>(2) 造形的な創造活動の基礎的な能力を養うため、紙面全体を通し、製作中の写真で段階的に構成し、児童の言葉で発想や構想、鑑賞の視点を分かりやすく示してある。また、つくり方をイラストや拡大写真で丁寧に示し、児童が主体的に学習活動に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>また、豊かな情操を養うために、「教科書美術館」や「図画工作の広がり」「ぞうけいのもり」では多様な表現や伝統的な表現、地域における造形活動や作家の思いを紹介したり、表現したことを発信する活動を紹介したりし、造形的な創造活動への意欲を高める工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 2 学年ごとの目標に合わせ、1・2 上下、3・4 上下、5・6 上下の 6 分冊で構成されている。内容構成は A（1）を「造形遊び」A（2）を「絵」「立体」「工作」に分け、B「鑑賞」と 5 つに設定してある。また、各領域・分野ごとに、各学年の内容、育てたい力をもとに学習内容を系統的に配列するとともに、材料や用具の選択にも、学指導要領に応じ、発達段階を考慮して時数をバランスよく配置するなど工夫が見られる。</p> <p>(2) A（1）造形遊びにおいては、葉、石、土、場所など、自然の環境や素材を生かしたり、学校の状況に応じ、校庭や教室で実施できる題材を示したりし、取り組みやすいよう配慮されている。また、A（2）表現では、全学年を通し、児童が伸び伸びと楽しみながら様々な素材や表現方法が体験できるように、発達段階に応じた表現方法の配列が工夫してある。さらに、B 鑑賞の充実のために、鑑賞のページを設け、国内外の多くの作品や日本の工芸作品や、伝統技法を使った発展的な活動を紹介したり、児童作品の展示の工夫が紹介したりと工夫してある。</p>
116 日 文	<p>(1) 2 学年ごとの目標に合わせ、1・2 上下、3・4 上下、5・6 上下の 6 分冊で構成されている。内容構成は A（1）を「造形遊びをする活動」、A（2）を「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」、B「鑑賞する活動」と 5 つに設定してある。また、領域・分野ごとに、学習のねらいをもとに、題材が系統的に整理され、取り組みやすく配列してある。また、材料や用具の選択にも、指導要領に応じ発達段階を考慮した工夫が見られる。</p> <p>(2) A（1）造形遊びにおいては、生活用品、段ボール、傘、光や土、植物など、身の回りの材料や自然に親しむ造形活動を通して、身近なものや自然のよさを生かし、造形的な創造活動を幅広く体感できるよう工夫されている。A（2）表現では、発達段階に応じ、児童が楽しみながら意欲的に様々な素材や表現方法を体験できるように、全学年を通し、統一感のある題材を設定したり、表現方法の配列を工夫したりしてある。さらに、B 鑑賞の充実のために、鑑賞のページを設け、国内外の多くの作品や日本の伝統工芸を紹介したり、伝統技法を使った題材で活動し、発想や構想のヒントとして活用したりできるよう工夫してある。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 知識・技能の習得や活用を図るために、題材で必要とする知識・技能を線で囲んだり、児童の写真を掲載したりしている。また、活動の様子が場面分けされ、吹き出しも用いられていて分かりやすくなっている。さらに、多様な表現方法を使った児童作品を示したり、児童の思いを吹き出しで表したりすることで活動への期待を広げさせ、児童が関心や意欲を維持しながら学習できるように工夫している。</p> <p>(2) 本地域で重視する「自ら探究していく力の育成」については、探究的な学習が展開されるように具体的な発想の過程や表現の工夫を写真等で示し児童の製作活動の充実を図っている。また、児童の意欲を高めるために「〇〇してみよう」「〇〇かな」などの文章が各ページに書かれている。さらに、「みんなのギャラリー」のコーナーでは、様々な作品や表現方法などを紹介し、探究的な学習が展開されるための工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 知識・技能の習得や活用を図るために、技能のポイントをしおりマークで示したり、写真の中のポイントとなる部分を拡大したりして、児童にとって分かりやすいものとなっている。さらに、多くの写真を使って児童の活動の様子を提示し、作品づくりの手順を分かりやすく示したり、キャラクターを使ったりすることで作品に対するイメージを広げさせ、児童が関心や意欲を維持しながら学習できるように工夫している。</p> <p>(2) 本地域で重視する「自ら探究していく力の育成」については、複数の作品の製作過程を示し、児童の発想をもとに多様な活動ができるようにするなどの工夫が見られる。探究的な学習が展開されるように、児童が材料や友だちとかかわりながら活動する姿を、イラストや写真を使って示している。また、キャラクターの吹き出しで新しい発想や活動ができるようにしている。さらに「ぞうけいのもり」では、様々な作品展示の仕方、有名な作品などを紹介し、探究的な学習が展開されるための工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 言語活動を通して授業を振り返ることができるように「ふりかえりの4観点」を設定し、言葉や文章で自分や友だちの作品について、意見を述べるができるようにしている。</p> <p>また、自分の思いを伝えるための造形活動を内容にした題材を設け、児童同士が関わりあい、活発な言語活動が展開され、児童のコミュニケーション能力を高める工夫が見られる。</p> <p>同じ絵を見て、想像したことや感じたことなどを話し合う題材が扱われており、充実した言語活動を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 授業において、児童の学習意欲を高めたりイメージを広げたりするために活動のヒントを青色の丸で囲んで明示している。また学年の終わりに「みんなのギャラリー」という題材が設定されており、学習したことが、総合的な学習の時間など他の場面でも生かされるように配慮がされている。</p> <p>本地域は、自然や施設など素材が豊富であるが、児童が地域素材を生かすことで充実した学習ができる工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 言語活動を通して授業を振り返ることができるように「4つのめあて」を設定し、児童がその題材で学習したことを振り返り、言葉や文章で友だちと伝えあうことができるようにしている。</p> <p>また、友だちとのかかわりや協力し合うことを中心的な課題とする題材が設けられ、友だちとのコミュニケーションを図りながら、活発な言語活動が展開されるための工夫が見られる。</p> <p>色々な絵を見て同じ視点で話し合う題材が扱われており、表現力を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 授業において、キャラクターを用いて、児童が自分で活動のポイントに気付けるようにしたり、イメージの広がりを促したりするようなヒントを示している。また友だちと共に考えたり活動したりしながら学習できるように共同で活動する様子を写真で示すなど配慮が見られる。</p> <p>本地域は、自然や施設など素材が豊富であるが、児童が地域素材を生かすことで充実した学習ができる工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 発展的な学習、補充的な学習の観点から、「ひらめきコーナー」や「造形コレクション」が特設してあることで、児童一人一人が必要な時に見て、形や色への関心を高めたり、発展的に取り組めたりできるように工夫している。また、全学年にわたる「みんなのギャラリー」では、地域の伝統文化や地域で行われるイベント等を数々の写真を中心に紹介し、様々な地域の暮らしの中の造形に目を向ける工夫をしている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、作品製作の過程や発想方法のヒントなどを示すことで、児童が困ったり行きづまってしまったりしたときに自分で解決できるように工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 発展的な学習、補充的な学習の観点から、「ぞうけいのもり」が特設してあることで、身の回りにある草花や植物、作品などが紹介され、授業以外でも、イメージを広げられるように工夫している。また、3年以上にある「図画工作の広がり」では、地域の伝統文化や地域で行われるイベント等を数々の写真を中心に紹介し、様々な地域の暮らしの中の造形に目を向ける工夫をしている。</p> <p>(2) 個に応じた指導を行うために、基本的な仕組みの作り方をイラストで分かりやすく示すことで、必要な情報を簡単に入手することができるように工夫している。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開 隆 堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、教科書の大きさがランドセルに入る大判のA4判になっている。大判であることから、作品や活動の情景が大きく掲載されている。また、児童作品の写真背景を加工したり、児童作品の工夫のポイントを部分拡大したりすることで、どんな作品を製作したらよいか分かりやすくなっている。目次には、各題材が5つの分野や図画工作で大切にしたい3つの力のどれに該当するのかがアイコンで示してある。また、使用する材料や用具も目次にまとめて掲載してあり、各題材の内容等がすぐに分かるように工夫している。</p> <p>(2) 材料や用具の扱い方が児童に分かりやすいように、各学年巻末に見開きで「工具箱」として、発達の段階に応じた内容でまとめられている。また、カラーユニバーサルデザインを採用し、すべての児童に教科書の内容がきちんと伝わるように、紙面全体に識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置など工夫している。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、教科書の大きさがどんなランドセルにも入るA4判よりも2cm短いレターサイズになっている。掲載している児童作品や授業情景の写真は、すべて実際の授業で撮影されたものを使用している。また、造形遊びをする活動では、学校や地域の実態に合わせて活動できるように屋内と屋外の活動を両方紹介している。目次には、各題材が5つの分野のどれに該当するか、アイコンによってすぐに分かるようになっている。また、活動の様子や児童作品が紹介されており、見通しをもって学習活動が進められるように工夫している。</p> <p>(2) 材料や用具の扱い方が児童に分かりやすいように、各学年巻末に6ページにわたって「使ってみよう材料と用具」として、発達の段階に応じた内容でまとめられている。また、カラーユニバーサルデザインを採用し、色とアイコン、文字を組み合わせるすべての児童が識別できるようにしている。さらに、発達段階に合わせて文字量や文字の大きさを工夫している。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、小単元ごとの「学習のめあて」や「DO！活動」として具体的活動内容をていねいに示したり、巻末に拡大版「いつも確かめよう」を掲載したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるために、2か年に渡り「わが家」「家族」「家庭」「だんらん」「つながり」をテーマにした単元を取り扱ったり、学習内容の日常化をねらうために「自由研究」や「プロに聞く！」コーナーを設けたりする工夫が見られる。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、小単元ごとの「学習のめあて」や「話し合おう」「考えよう」などの中心となる活動内容を大きく示したり、さまざまな手順の細かい段階別写真を掲載したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てるために、第5学年において重点的に「家族」「家庭」「だんらん」「つながり」をテーマにした単元を取り扱ったり、日々の実践への意欲付けのために「チャレンジコーナー」や「達人」コーナーを設けたりする工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童の主体的な学習を促すために、「1 見つめよう」「2 計画しよう・活動しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3段階で構成する工夫をしている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、巻頭に「家庭科を学ぼう」というガイダンス及び「成長の記録」を設ける工夫をしている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 児童の主体的な学習を促すために、「学習のめあて」と本文の項目番号、「ふり返ろう、生かそう」を対応させる構成の工夫をしている。</p> <p>(2) 発達段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元を細かく構成・配列し、スモールステップで学習を積み上げる工夫をしている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習のめあてが題材ごとに「1 みつめよう」「2 計画しよう・活動しよう」「3 生活にいかそう・新しい課題を見つけよう」の3段階で明示されているので、課題把握後、習得・活用・探求という学習活動の流れをつかみやすくなっている。</p> <p>(2) 確実な習得を図るため、実習・観察・調査などの活動が設定されており、「これだけはできるようになるよう」を活用することで、主体的に知識や技能の習得を目指し自己評価できるようになっている。</p> <p>(3) 課題意識をもって取り組むことができるよう、「DO! 活動」においてさまざまな活動が設定されている。また、学んだことを活用するアイデアが紹介され、日常生活に絡めて考え、実践できるようになっている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 学習のめあてが題材ごとに設定されており、それに対して「できたかな」「ふり返ろう・生かそう」が対応しているため、児童が主体的に学習活動に取り組めるほか、習得・活用・探求の流れに沿って学習できるようになっている。</p> <p>(2) 確実な習得を図るため、実習・観察・調査などの活動が設定されており、「できたかな」を活用することで、知識及び技能の習得状況に関して自己評価できるようになっている。</p> <p>(3) 課題意識をもって取り組むことができるよう、「考えよう」「調べよう」などの学習活動が設定されている。また、「生かそう」において具体的な実践事例が提案され、日常生活に絡めて考え、実践できるようになっている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 各単元において、言語活動を充実させるため、調べたことや体験をもとに話し合ったり、学習内容をまとめて発表したりする場面が設定されている。また、実践的・体験的な学習活動が多く設定されており、それらの活動を通して、生活の中のさまざまな言葉が実感を伴って理解できるようになっている。</p> <p>(2) 教科における指導の充実を図る手立てとして、巻末には、拡大写真を用いた「いつも確かめよう」コーナーが設定されている。右利き・左利き両方が紹介されているため、児童の実態に対応でき、指導に生かしやすくなっている。</p> <p>(3) 題材数が14設定されており、一つの題材に多くの時間を配分することができるようになっている。特に、裁縫関連の題材に関して配当時間が多く確保されており、手縫いやミシンを用いた直線縫いなどの技能面における指導の充実が図られるようになっている。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 各単元において、言語活動を充実させるため、言葉や図表などを用いて話し合う場面が多く設定されている。また、ひとロメモでは、家庭科で用いられる用語などが紹介されており、その単元を学習する中で、語彙を増やしたり、さまざまな言葉が実感を伴って理解したりできるようになっている。</p> <p>(2) 教科における指導の充実を図る手立てとして、効果的に写真が用いられている。また、「日常の食事と調理の基礎」領域においては、調理時の火加減を分かりやすい絵で示してあり、指導に生かしやすくなっている。</p> <p>(3) 題材数が18設定されており、第5学年で学んだことをもとに第6学年で工夫して生活に生かすことができるようになっている。特に、「家庭生活と家族」領域に関して、2か年を通して配当時間が多く設定され、家族の一員としての態度を養うための指導の充実が図られるようになっている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補充的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 本地域で重視する日常の食事と調理の基礎については、味噌料理や味噌・だしの例が掲載されており、児童が地域に関心をもちながら発展的な実践が進められるような工夫が見られる。また、いろいろな食材を使った調理を写真で示すことで、地域の食材に関心をもち調理してみようとする意欲を高めている。</p> <p>(2) 児童が、「DO!活動」や環境などのコーナーで、日常生活につながる学習を紹介し、発展的活動への意欲を高められるようになっている。</p> <p>(3) 基礎的・基本的な技能を振り返って確認させるために、巻末に「いつも確かめよう」コーナーを設け、実物大の写真や絵図を使って児童がわかりやすく学習を理解できるような工夫が見られる。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) 本地域で重視する日常の食事と調理の基礎については、味噌を使った地方の料理の例が掲載されており、児童が地域に関心をもちながら発展的な実践が進められるような工夫が見られる。また、いろいろな食材を使った調理を写真で示すことで、地域の食材に関心をもち調理してみようとする意欲を高めている。</p> <p>(2) 児童が、「関連」「参考」「発展」「一口メモ」等のコーナーで他教科との関連を意識して学習に生かし、発展的活動への意欲を高められるようになっている。</p> <p>(3) 基礎的・基本的な技能を振り返って確認させるために、巻末に「〇〇実習を成功させるために」コーナーや裏表紙の切り方コーナーを設け、児童がわかりやすく学習を理解できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「タマ号」というキャラクターが学習を進め、ワイドな紙面を効果的に活用した横の流れのレイアウトで学習の見通しをもって学習できるように工夫されている。目次では、5年生と6年生の内容を併記しており、関連単元を同一色で表すことで関連性を意識しながら学習をさせていくことで学習効果を高めようと工夫している。</p> <p>(2) 特定のマークを使い、視覚的にわかりやすくしている。また、「いつも確かめよう」コーナーにインデックスを設け、いつでも調べやすく使いやすいように工夫されている。</p> <p>(3) コラム「日々の備え」特集「持続可能なめざして」などのコーナーや「安全」マークなどで、家庭科での安全指導、防災指導を徹底しようと工夫している。</p>
9 開 隆 堂	<p>(1) キャラクターが学習を進め、実習・製作の手順は数多くの写真を取り入れ、実感を伴って学習ができるように工夫されている。目次では、5年生と6年生の内容がスパイラルに学習していくことが記されており、それぞれの学年が同一色で統一され、中学校の学習に続く意識をもたせ学習効果を高めようと工夫している。</p> <p>(2) 特定のマークを使い、視覚的にわかりやすくしている。また、学習分野ごとにインデックスを設け、関連して学習しやすいように工夫されている。</p> <p>(3) 「安全に実習を進めるために」「いざという時のために」などのコーナーで、実践・体験を通した家庭科での安全指導、防災指導を徹底しようと工夫している。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(1)〕学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 健康・安全に関する理解を深めさせるために、学習内容を見開き 2 ページでまとめ、学習の流れが一目で分かるほか、キャラクターの吹き出し文により課題解決の見通しをもたせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活を営む資質や能力を育てるために、「まめちしき」の欄で思考力や判断力を養わせたり、広げようの欄で学校や地域の実情に応じた指導ができるようにしたりする工夫が見られる。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 健康・安全に関する理解を深めさせるために、導入にゲームを提示し積極的に取り組めるようにしているほか、課題を提示し主体的に解決できる構成にしている工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活を営む資質や能力を育てるために、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの活動場면을授業の中に設け、児童の能動的な思考や判断の活動を促す工夫が見られる。</p>
207 文 教 社	<p>(1) 健康・安全に関する理解を深めさせるために、「動機づけ」・「追究、理解」・「実践への意欲づけ」の構成・レイアウトになっているほか、多様な記入欄を設け、主体的に学習ができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活を営む資質や能力を育てるために、理解してほしい内容を太字にして強調したり、習得した知識を実践へと活用するために実習や話し合いなどを取り入れた工夫が見られる。</p>
208 光 文	<p>(1) 健康・安全に関する理解を深めさせるために、「つかむ」コーナーで習得した知識を活用し「あてはめよう」「見つけよう」などのコーナーで課題解決するための学習活動を展開する工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活を営む資質や能力を育てるために、重要な言葉は太字やフォントの色を変え理解を促し、チェック項目欄や書きこみ欄を設け、児童が楽しく学習できるなどの工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 健康・安全に関する理解を深めさせるために、1 単位時間において児童自身の経験を振り返る活動や友達と実験・実習ができる協働活動が展開できるような学習活動の工夫が見られる。</p> <p>(2) 健康で安全な生活を営む資質や能力を育てるために、「やってみよう」「友達と」のコーナーを設置し、実験・実習・協働の学習に対する意欲を高め、生活実践に結び付ける工夫が見られる。</p>

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点 1-(2)〕 児童の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 児童が主体的に学習に取り組めるように、小单元ごとに学習課題を明記し、内容に応じた学習活動（振り返り、話し合い、思考等）が設定され、問題解決的な学習の構成になっている。</p> <p>(2) 単元（題材）目標を達成するために、「学習を振り返ろう」コーナーがあり、考えたことを書き込む記入欄や話し合い活動の時間の設定をする工夫がなされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 児童が主体的に学習に取り組めるように、「課題把握・発見」「思考・判断・表現活動」「まとめ」「活用」の流れで一単位時間を示し、問題解決的な学習の構成になっている。</p> <p>(2) 単元（題材）目標を達成するために、小单元ごとに取り組む学習活動の精選と学習内容の理解が深まる「ミニちしき」コーナーを設定し、学習課題に向き合える工夫がなされている。</p>
207 文 教 社	<p>(1) 児童が主体的に学習に取り組めるように、課題発見の動機づけ、「課題把握」「振り返り・話し合い・思考・探究」「まとめ」「実践化」が示され、問題解決的な学習の構成になっている。</p> <p>(2) 単元（題材）目標を達成するために、図や表（グラフ）等の具体的な資料や読み物資料を多く掲載し、健康や安全に対する意識を高める工夫がなされている。</p>
208 光 文	<p>(1) 児童が主体的に学習に取り組めるように、学習課題を明記し、内容に応じた学習活動（課題把握・探究・思考・話し合い・活用）を設定し、問題解決的な学習の構成になっている。</p> <p>(2) 単元（題材）目標を達成するために、「つかむ」コーナーを設定し、習得すべき基礎的・基本的な知識や原理・原則などの学習内容をおさえる工夫がなされている。</p>
224 学 研	<p>(1) 児童が主体的に学習に取り組めるように、小单元ごとに学習内容を明示し、「課題把握」「振り返り・話し合い・思考・探究」「まとめ」「活用」の流れで問題解決的な学習の構成になっている。</p> <p>(2) 単元（題材）目標を達成するために、「学習のまとめ」のページを設定し、単元を振り返っての習得の確認、知識の活用を図る工夫がなされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(1)〕 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 基礎・基本の確実な習得を図るために、「学習をふり返ろう」という自己評価のページが用意され、自己の学習の定着を確認できるように工夫がされている。</p> <p>(2) 習得した知識をもとにした活用・探究の学習として、「学習の課題」「ふり返ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「活用して深めよう」という見出しが分かりやすく表記され、思考力・判断力・表現力の育成につながる学習の流れになるよう工夫がされている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 基礎・基本の確実な習得を図るために、基礎・基本の定着につながるグラフや写真などについて「保健の先生」「警察官」など指導的立場のキャラクターが分かりやすく説明する工夫がされている。</p> <p>(2) 習得した知識をもとにした活用・探究の学習として、一人で考えたことを記述させたり、話し合いを行わせたりして課題解決方法が明確にされ、「やってみよう」では、実技を伴う体験的学習を行わせるように工夫がされている。</p>
207 文 教 社	<p>(1) 基礎・基本の確実な習得を図るために、基礎・基本の内容につながる重要な文章については、文字を太字にしたり、背景を黄色にしたりして、児童にとって視覚的に目立つような工夫がされている。</p> <p>(2) 習得した知識をもとにした活用・探究の学習として、各単元の終わりに、学習したことをこれからの生活にどのように生かすかという視点で考えさせ、人気スポーツ選手のメッセージを載せ、共感的な気持ちを高めさせるように工夫がされている。</p>
208 光 文	<p>(1) 基礎・基本の確実な習得を図るために、「つかむ」コーナーを用意して学習のねらいが明確になるようにしている。今日的な課題への対応方法が分かりやすく示される工夫がされている。</p> <p>(2) 習得した知識をもとにした活用・探究の学習として、学習した内容を身近な生活場面に置き換える「あてはめよう」「伝えよう」があったり、家族と生活を振り返る「ファミリーチェック」があったりするなどの工夫がされている。</p>
224 学 研	<p>(1) 基礎・基本の確実な習得を図るために、各単元の終わりに「学習のまとめ」が用意され、児童に学習を振り返らせるとともに、新たな課題発見への気付きができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 習得した知識をもとにした活用・探究の学習として、奇数ページの右下に「かつよう」の欄が用意してあり、話し合いや記述等で表現させ、活用力を高めるための工夫や科学的知識の習得につながる「かがくの目」が用意されるなどの工夫がされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(2)〕言語活動や教科における指導の充実を図るという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 本地域で重視する言語活動の手立てとして、「考えてみよう」「活用して深めよう」コーナーを設置することで児童に書く活動を促したり、話し合いの場を設けたりする工夫が見られる。 (2) 教科における指導を充実させる手立てとして、各章末に「学習を振り返ろう」を設け、学んだ内容を自己評価させたり、習得した知識を实践させるような記述をさせたりする工夫が見られる。
4 大 日 本	(1) 本地域で重視する言語活動の手立てとして、1 単位時間の終わりに習得した理解を児童自身の実生活で実践させるために「活用」コーナーで記述し、児童相互に伝え合う工夫が見られる。 (2) 教科における指導を充実させる手立てとして、「資料」「もっと知りたい」「やってみよう」コーナーを設置し、基礎的・基本的な内容を確実に理解することができるような工夫が見られる。
207 文 教 社	(1) 本地域で重視する言語活動の手立てとして、習得した知識を用いてブレインストーミングを行ったり、「こんなときあなたなら」コーナーで自分の考えを書きこんだりする工夫が見られる。 (2) 教科における指導を充実させる手立てとして、習得した学習内容に広がりをもたせるために発展的な学習を「発展」コーナーに掲載し、学習に対する意欲を継続させるような工夫が見られる。
208 光 文	(1) 本地域で重視する言語活動の手立てとして、課題を解決させるために「あてはめよう」「つたえよう」のコーナーにおいて、児童の思いや考えを書き込み、他へ伝えるなどの工夫が見られる。 (2) 教科における指導を充実させる手立てとして、課題解決のための学習活動を「思考・判断・表現」に合わせて「あてはめよう・見つけよう・つたえよう」を設定する工夫が見られる。
224 学 研	(1) 本地域で重視する言語活動の手立てとして、1 単位時間に書き込むことができる場面があるほか、「友達と」コーナーの設置により伝え合うことができる場の設定があるなどの工夫が見られる。 (2) 教科における指導を充実させる手立てとして、「かがくの目」コーナーを設置し、科学的な理解・認識を導いたり、知ってほしい用語を「ことば」で解説したりするなどの工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点 2-(3)〕 発展的な学習や補足的な学習、くり返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 発展的・補足的な学習として、各章末に小単元に関連する補充資料「広げよう」を設定し、「学習を振り返ろう」で自分の課題や解決方法を考えさせる工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導の手立てとして、授業のハイライトとなる場面に、学んだ知識をもとに、思考・判断・表現する活動「活用して深めよう」を設定する工夫がなされている。
4 大 日 本	(1) 発展的・補足的な学習として、学んだことの理解をさらに深める「はってん」や学習内容の補充資料として「もっと知りたい!」のページを設定する工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導の手立てとして、単元の終わりに学習したことを児童自らの生活の中で実践するために、書き込み形式の「活用」を設ける工夫がなされている。
207 文 教 社	(1) 発展的・補足的な学習として、「発展的な学習」の内容を掲載したり、防災意識の高揚を目指し、事故に対処する方法や日常の備えについて掲載したりする工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導の手立てとして、各章末に学習したことを生かして取り組む内容「これからの自分へ」が提示されており、さらなる探究や実践化へつなげる工夫がなされている。
208 光 文	(1) 発展的・補足的な学習として、「はってん」「保健の広場」のコーナーや防災教育の充実として第5学年に発展的な学習内容を設定する工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導の手立てとして、「学習したことをあてはめる」、「学習したことをもとに判断する」、「学習したことをもとにアドバイスする」学習活動を設定する工夫がなされている。
224 学 研	(1) 発展的・補足的な学習として、本文との関連が深く、児童の興味・関心に応えるテーマ、現代的な健康課題や話題を取り上げたコーナーを設定する工夫がなされている。 (2) 個に応じた指導の手立てとして、「学習のまとめ」において習得したことを生活行動への活用につなげる「学びを生かして」「明日につなげる」を設定する工夫がなされている。

3 利便性の向上

〔観点3〕学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各学習問題に対し、学習活動が見開き2ページを基本としてあり、コンパクトにまとめられている。</p> <p>(2) 児童にとって分かりやすくするために、出てくるキャラクターが2名で、他のイラストと区別されたデザインで見やすくなっている。また、各ページが横ワイドで、記入欄に余裕が感じられるようになっている。</p>
4 大 日 本	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、目次部分に学習の進め方が分かりやすく示してあり、単元導入では、学習意欲を高めるためのナビゲームが取り入れられている。</p> <p>(2) 児童にとって分かりやすくするために、出てくるキャラクターが9名でバラエティーに富んでいる。また、各ページ最下段に「ミニちしき」があり、学習の興味・関心につながるようになっている。</p>
207文 教 社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全体的に各ページのイラストの色が柔らかく、写真の提示も身近なものがあり、児童の興味・関心を高めるようになっている。</p> <p>(2) 児童にとって分かりやすくするために、3人のキャラクターが各ページで明確な役割を担っている。また、キャラクターの指示に従うことで、学習のポイントをおさえられるようになっている。</p>
208光 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、学習のポイントとなるところの「つかむ」や資料の提示の仕方に工夫が見られ、児童にとって理解しやすい構成になっている。</p> <p>(2) 児童にとって分かりやすくするために、出てくる4人のキャラクターが学習活動の道筋を明確に示している。また、全体的にイラストや写真が豊富に使われており、児童が親しみやすいようになっている。</p>
224学 研	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全体的に各ページのイラストの色が柔らかく、2ページで1時間の学習が構成されており、児童が学習しやすいようになっている。</p> <p>(2) 児童にとって分かりやすくするために、出てくるキャラクターが全14人、9種類の役割を持っている。また、各ページの文字とイラストや写真の配置に余裕があり、見やすい構成になっている。</p>